



令和6年度 広島県民に対する調査結果報告書

2024年6月26日



目次

◆ 調査概要	P.3
◆ 回答者プロフィール	P.4
◆ 調査結果の詳細	P.8
1. 性別に関する意識	P.9
2. 内閣府のデータ比較（全国と広島県の比較）	P.24

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

※「*」は非聴取項目

調査概要

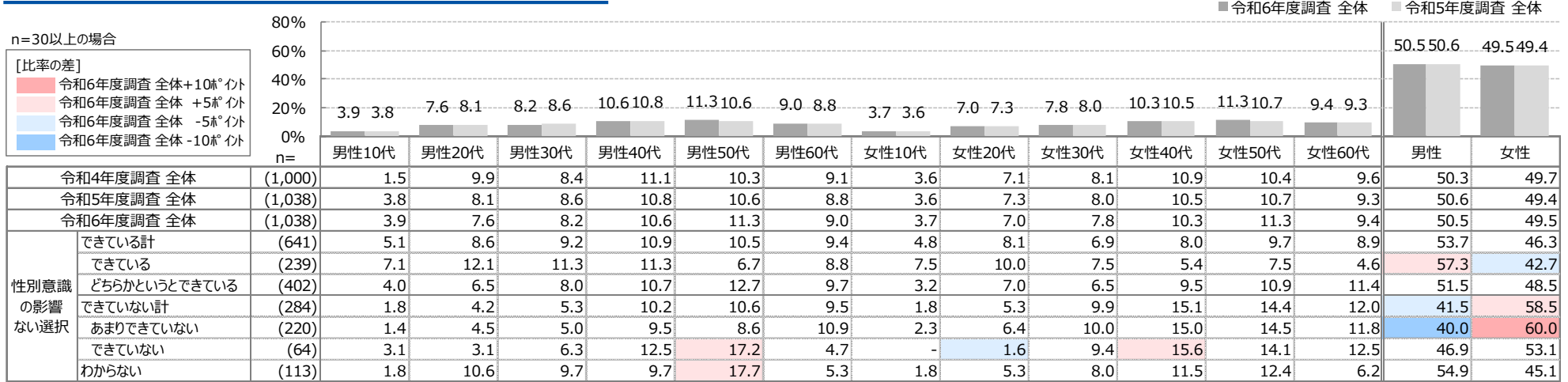
- ◆ 調査目的 : 県民の「性別に関する意識」を把握する。
今回から以下の設問について、内閣府の調査と比較し、結果をまとめる。
 - ・Q10～Q14 : 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和4年度11月調査)
 - ・Q15 (S5を除く) : 内閣府「令和4年度性別による無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)に関する調査」
- ◆ 調査対象 : マクロミルモニタ 15～69歳の男女
- ◆ 調査地域 : 広島県
- ◆ 調査方法 : インターネットリサーチ
- ◆ 調査時期 : 2024年5月29日(水)～6月1日(土)
- ◆ 有効回答数 : 1,038サンプル
- ◆ 調査実施機関 : 株式会社マクロミル

【割付表】

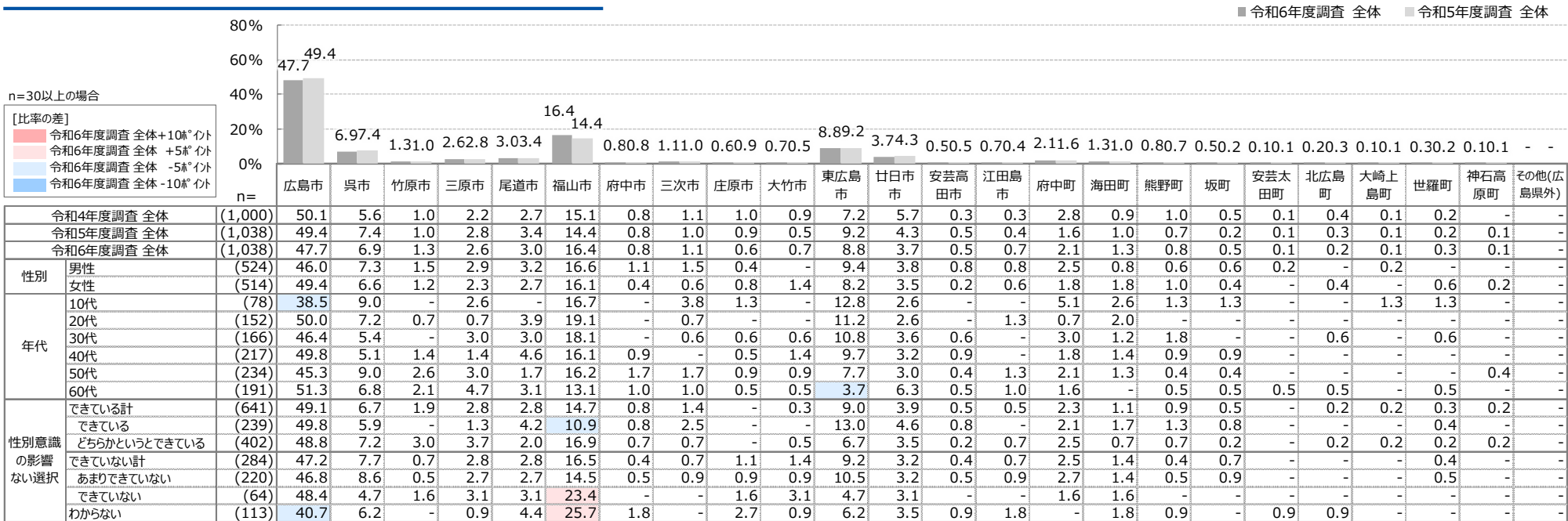
男性10代	40ss	女性10代	38ss
男性20代	79ss	女性20代	73ss
男性30代	85ss	女性30代	81ss
男性40代	110ss	女性40代	107ss
男性50代	117ss	女性50代	117ss
男性60代	93ss	女性60代	98ss
男性・計	524ss	女性・計	514ss
合計		1,038ss	

回答者プロフィール

性年代



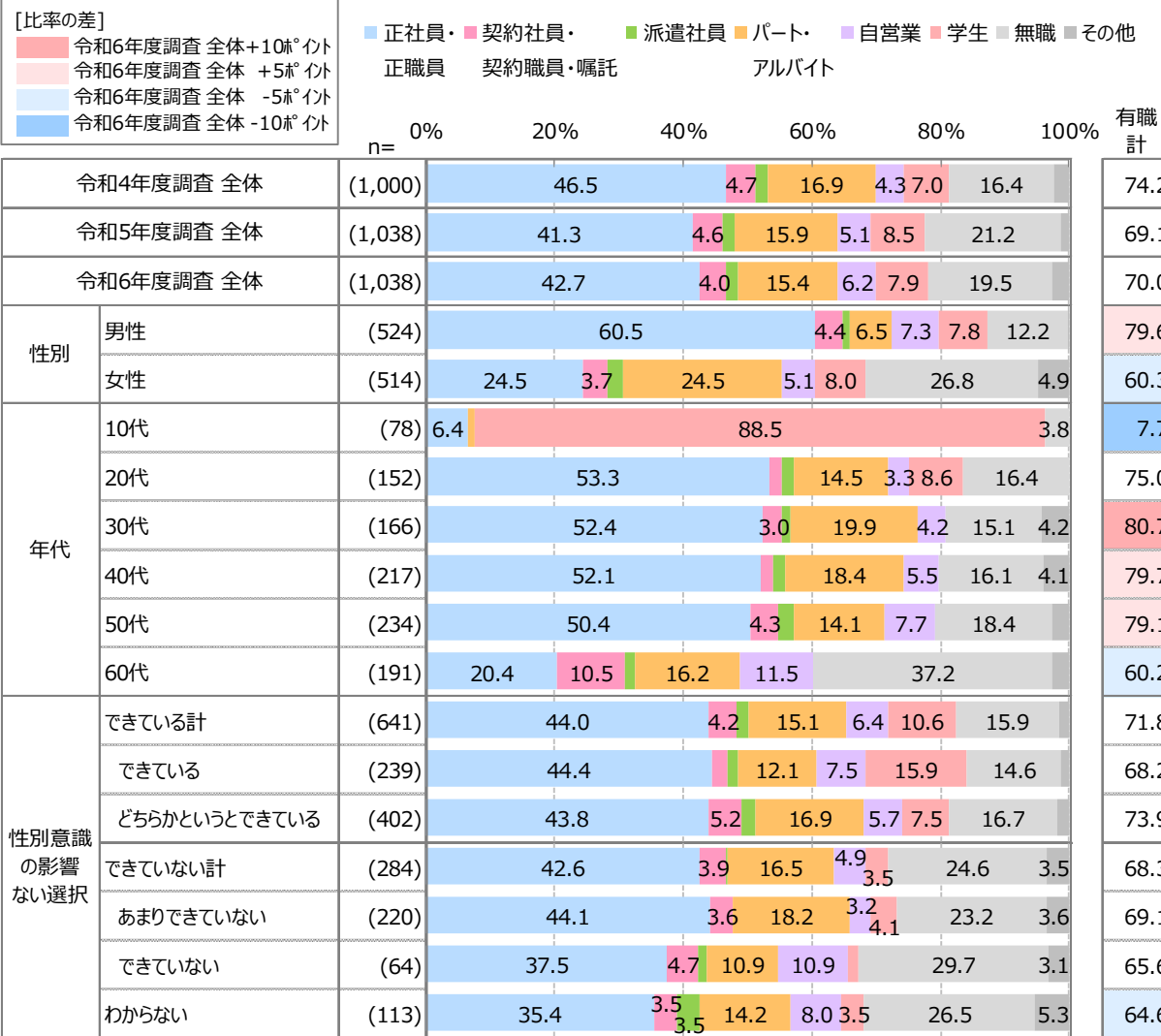
居住地域 (SQ2)



回答者プロフィール

就業状況・形態 (Q1)

n=30以上の場合

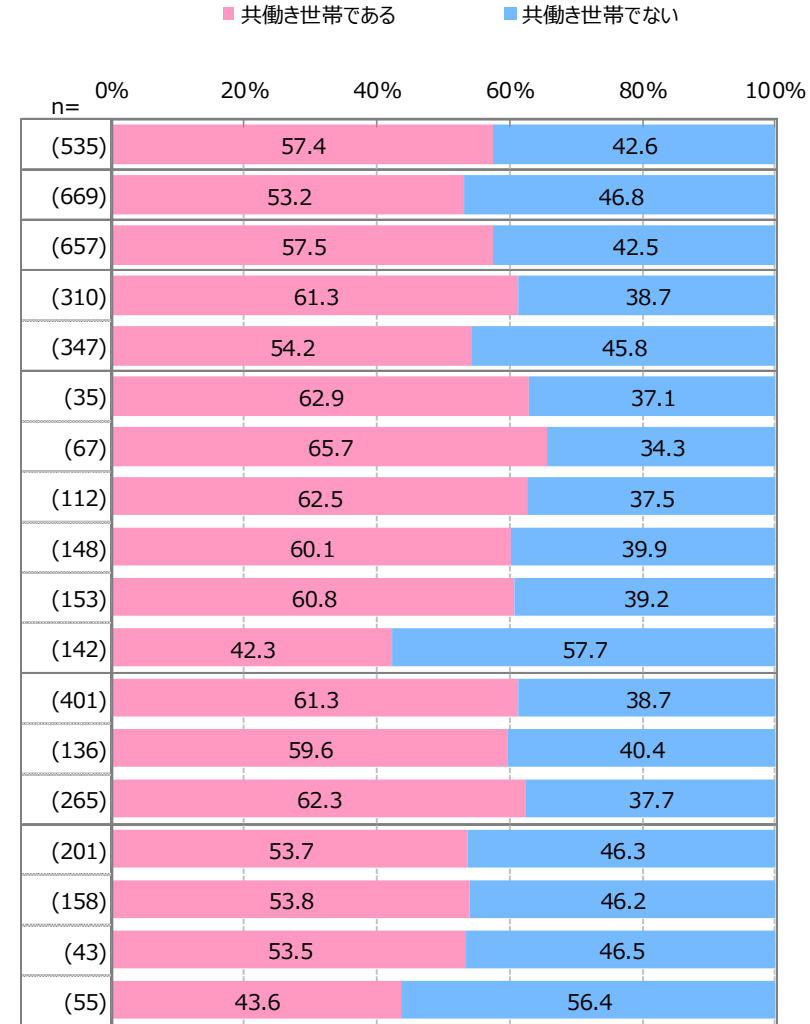


※3.0%未満のスコア非表示

※有職計 (「正社員・正職員」～「自営業」)

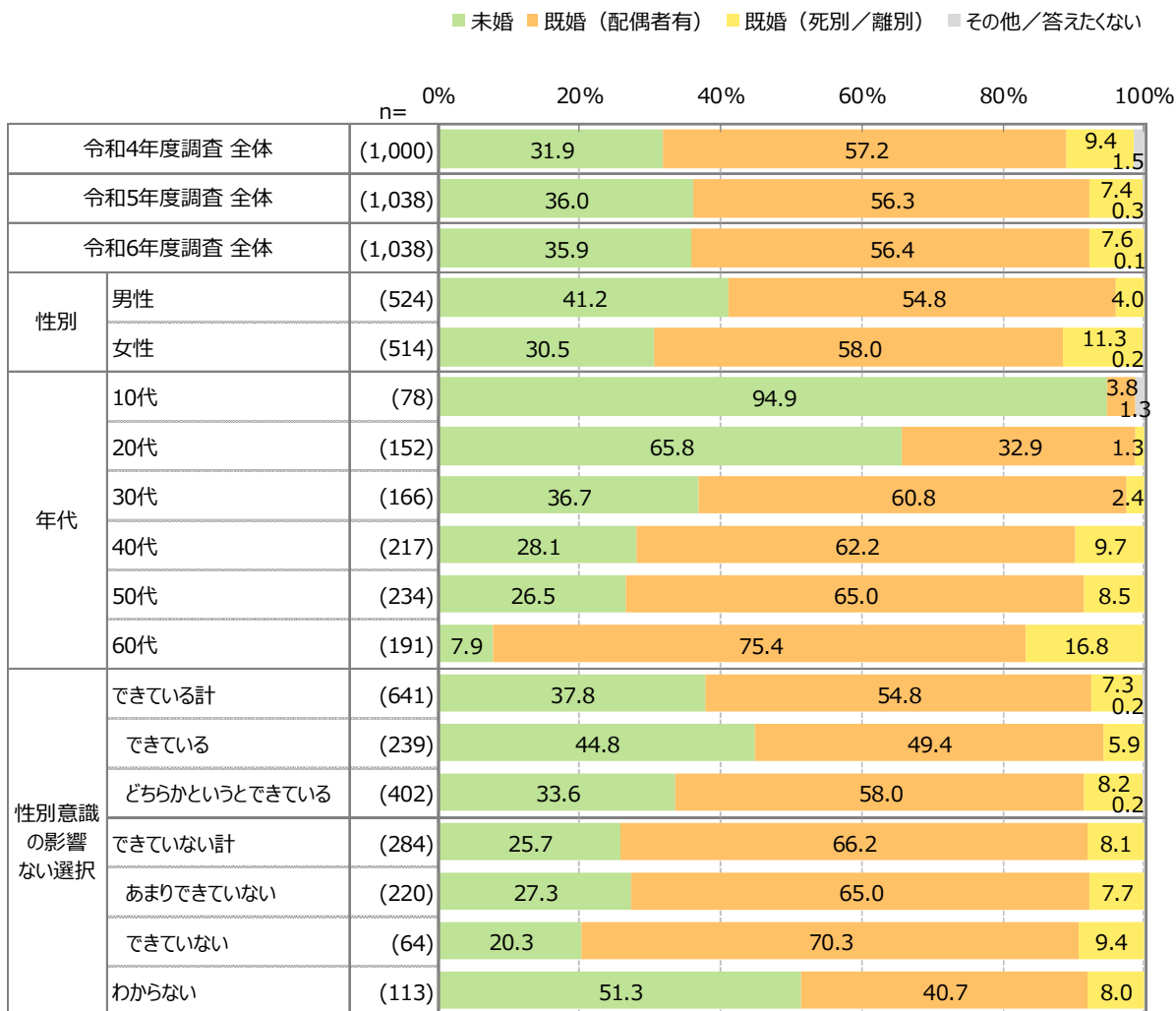
共働きの有無 (Q6)

※世帯構成で「夫婦」選択者ベース

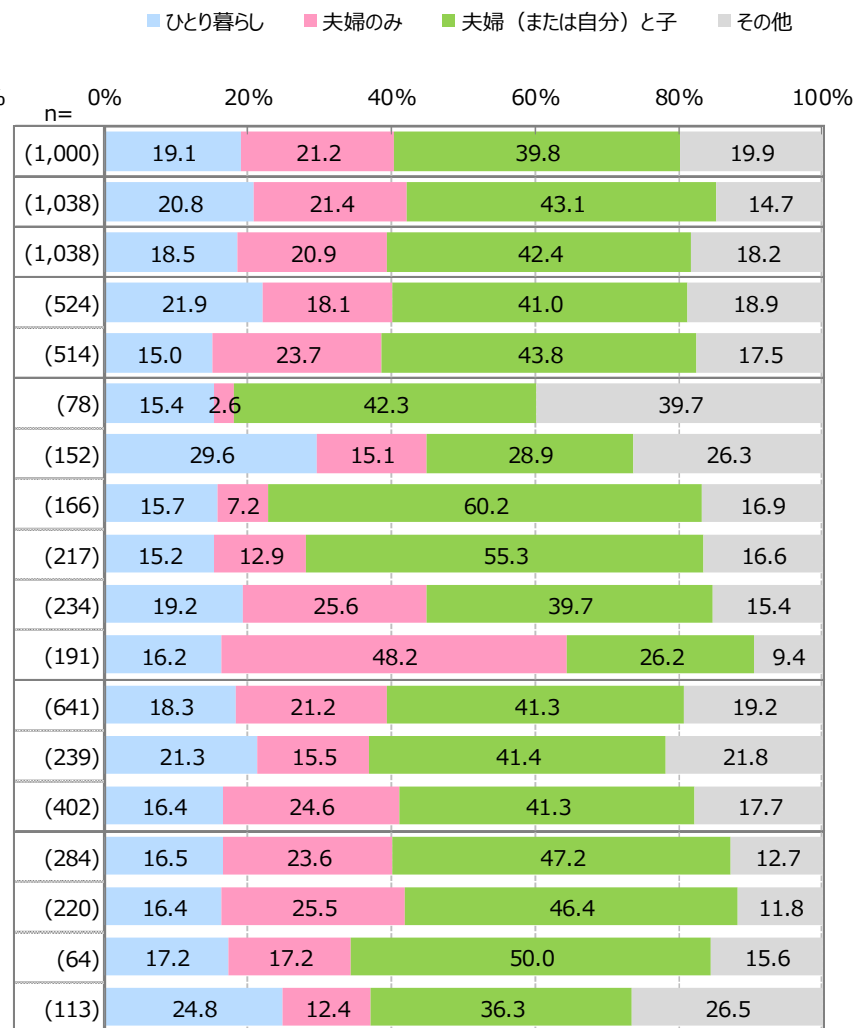


回答者プロフィール

婚姻状況 (Q4)



世帯構成 (Q5)



回答者プロフィール

個人年収 (Q2)

- 250万円未満 (+250)
- 500~750万円未満 (+625)
- 1,000万円以上 (+1,000)
- 250~500万円未満 (+375)
- 750~1,000万円未満 (+875)
- わからない/答えたくない

		n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均年収 (万円)
令和4年度調査 全体		(1,000)	39.7		26.6	11.8	5.0	14.7	330.5
令和5年度調査 全体		(1,038)	40.8		23.4	12.8	3.7	17.6	387.4
令和6年度調査 全体		(1,038)	39.4		27.0	10.3	4.2	17.0	388.2
性別	男性	(524)	22.7	32.4	17.4	7.8	4.0	15.6	468.9
	女性	(514)	56.4		21.4	3.1	18.3	303.3	
年代	10代	(78)	51.3		3.8		39.7	308.5	
	20代	(152)	40.8		37.5	5.3	15.8	335.0	
	30代	(166)	40.4		30.1	14.5	12.7	373.3	
	40代	(217)	34.6	24.4	18.0	7.4	14.7	427.0	
	50代	(234)	34.2	28.2	9.0	8.5	4.3	15.8	433.4
	60代	(191)	44.5		27.2	6.3	3.7	16.2	367.2
性別意識 の影響 ない選択	できている計	(641)	39.0		27.8	10.9	4.8	15.3	394.3
	できている	(239)	40.6		25.1	10.9	4.2	17.2	387.6
	どちらかというのできている	(402)	38.1		29.4	10.9	5.2	14.2	398.2
	できていない計	(284)	39.4		28.9	11.3	3.5	15.1	383.8
	あまりできていない	(220)	41.8		29.1	11.8		12.7	377.6
	できていない	(64)	31.3	28.1	9.4	6.3		23.4	408.2
	わからない	(113)	41.6		17.7	4.4		31.0	359.0

世帯年収 (Q3)

- 250万円未満 (+250)
- 500~750万円未満 (+625)
- 1,000万円以上 (+1,000)
- 250~500万円未満 (+375)
- 750~1,000万円未満 (+875)
- わからない/答えたくない

		n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均年収 (万円)
令和4年度調査 全体		(1,000)	9.6	25.8	21.8	14.0	6.5	22.3	596.7
令和5年度調査 全体		(1,038)	13.8	21.2	19.4	12.6	6.8	26.2	560.7
令和6年度調査 全体		(1,038)	12.2	23.3	19.7	12.9	7.3	24.6	566.1
性別	男性	(524)	11.6	21.9	21.4	16.4	10.1	18.5	601.0
	女性	(514)	12.8	24.7	17.9	9.3	4.5	30.7	524.2
年代	10代	(78)	10.3	9.0	11.5	7.7	6.4	55.1	585.7
	20代	(152)	16.4	28.3	19.1	9.2	4.6	22.4	506.4
	30代	(166)	9.0	24.1	26.5	15.7	6.0	18.7	585.2
	40代	(217)	7.4	21.7	22.1	18.0	9.2	21.7	622.1
	50代	(234)	11.1	22.2	17.5	14.1	9.0	26.1	586.7
	60代	(191)	19.4	27.7	17.3	8.4	6.8	20.4	504.9
性別意識 の影響 ない選択	できている計	(641)	11.5	25.3	18.7	12.9	8.4	23.1	569.7
	できている	(239)	12.1	25.5	15.9	12.1	8.4	25.9	560.7
	どちらかというのできている	(402)	11.2	25.1	20.4	13.4	8.5	21.4	574.8
	できていない計	(284)	10.9	20.4	25.4	14.1	6.3	22.9	582.2
	あまりできていない	(220)	11.4	18.2	28.2	12.7	6.4	23.2	582.8
	できていない	(64)	9.4	28.1	15.6	18.8	6.3	21.9	580.0
	わからない	(113)	19.5	19.5	10.6	9.7	3.5	37.2	491.2

※令和4年度調査の平均年収については、令和6年度調査と令和5年度調査で加重平均値が異なる可能性があるため参考値

※3.0%未満のスコア非表示

© Macromill, Inc.

調査結果の詳細

1. 性別に関する意識

性別に関する意識の影響度

『性別に関する意識に影響されることなく、働き方や暮らし方を選択できている人』は62%で、令和5年度調査と比較して2ptアップ。
令和4年度調査から微増傾向が見られる。

女性の「できている計」は58%と男性と比べて8pt低い。

年代でみると10-20代の若年層において、「できている計」が70%を超えており、他世代と比較して顕著に高い。

Q7 あなたは、現在、「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といった性別に関する意識に影響されることなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じますか。
当てはまるものを1つだけ選んでください。

SA

n=30以上の場合

[比率の差]

■ 令和6年度調査 全体+10pt 以内
■ 令和6年度調査 全体 +5pt 以内
■ 令和6年度調査 全体 -5pt 以内
■ 令和6年度調査 全体 -10pt 以内

■ できている
 ■ どちらかというできている
 ■ あまりできていない
 ■ できていない
 ■ わからない



※できている計（「できている」+「どちらかというできている」） ※できていない計（「あまりできていない」+「できていない」）

性別の意識に影響された場面（プラスに影響された・計）

性別に関する意識にプラスに影響された場面では「仕事の負担や責任が大きかったとき」が11%でトップ、「就職するとき」(11%) 「子供をもつとき」(10%)と続く。各項目でスコア差は小さく、分散している。

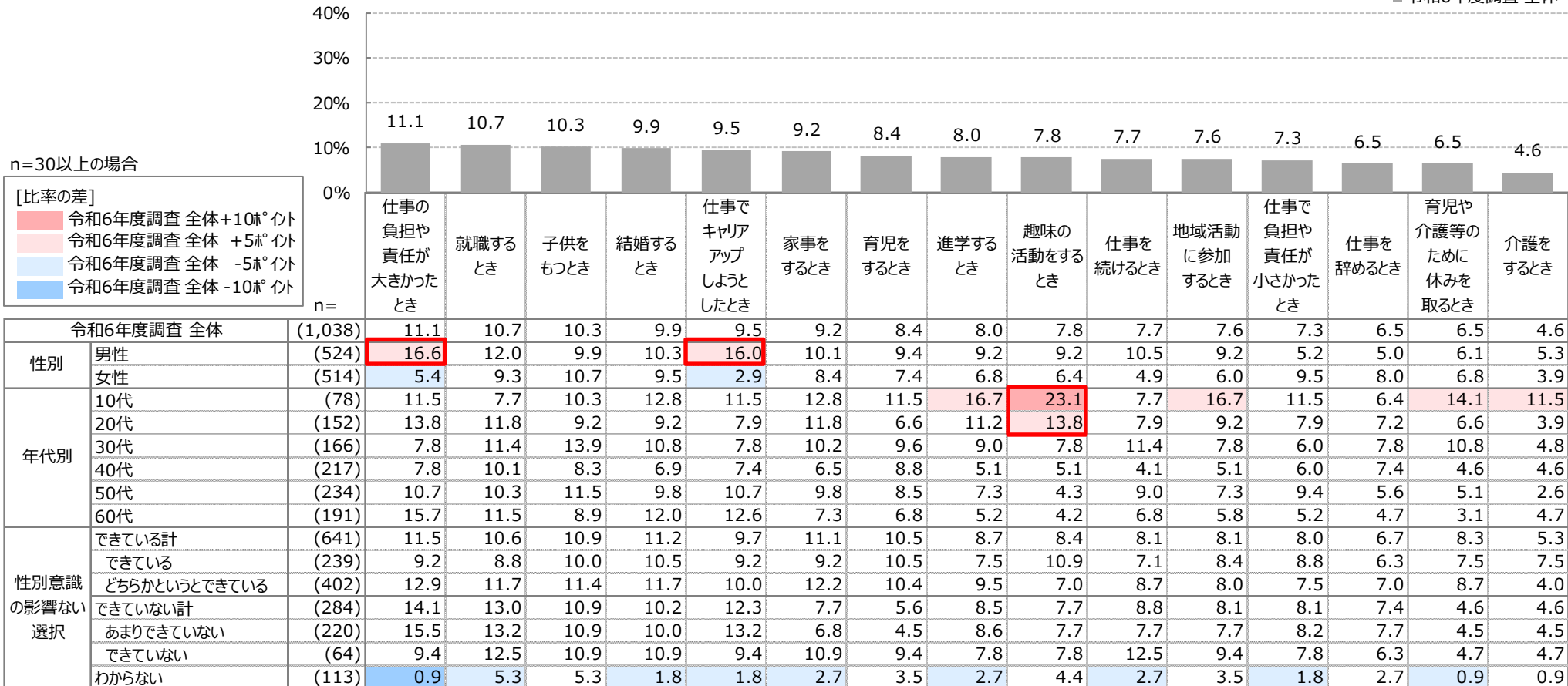
性別でみると、男性は「仕事の負担や責任が大きかったとき」と「仕事でキャリアアップしようとしたとき」が女性より10pt以上高い。

年代別でみると、10～20代では「趣味の活動をするとき」が高く、他世代と比べて高い傾向が見られる。「遭遇したことがない」場面が多いことから、その影響が考えられる。

Q8 あなたはこれまで以下の場面において「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識に影響されましたか。

SA

■ 令和6年度調査 全体



※スコアはプラスに影響された・計（「プラスに影響された」+「ややプラスに影響された」） ※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

性別の意識に影響された場面（マイナスに影響された・計）

性別に関する意識にマイナスに影響された場面では「家事をするとき」が29%でトップ、「育児をするとき」(25%)「仕事の負担や責任が大きかったとき」(19%)と続く。

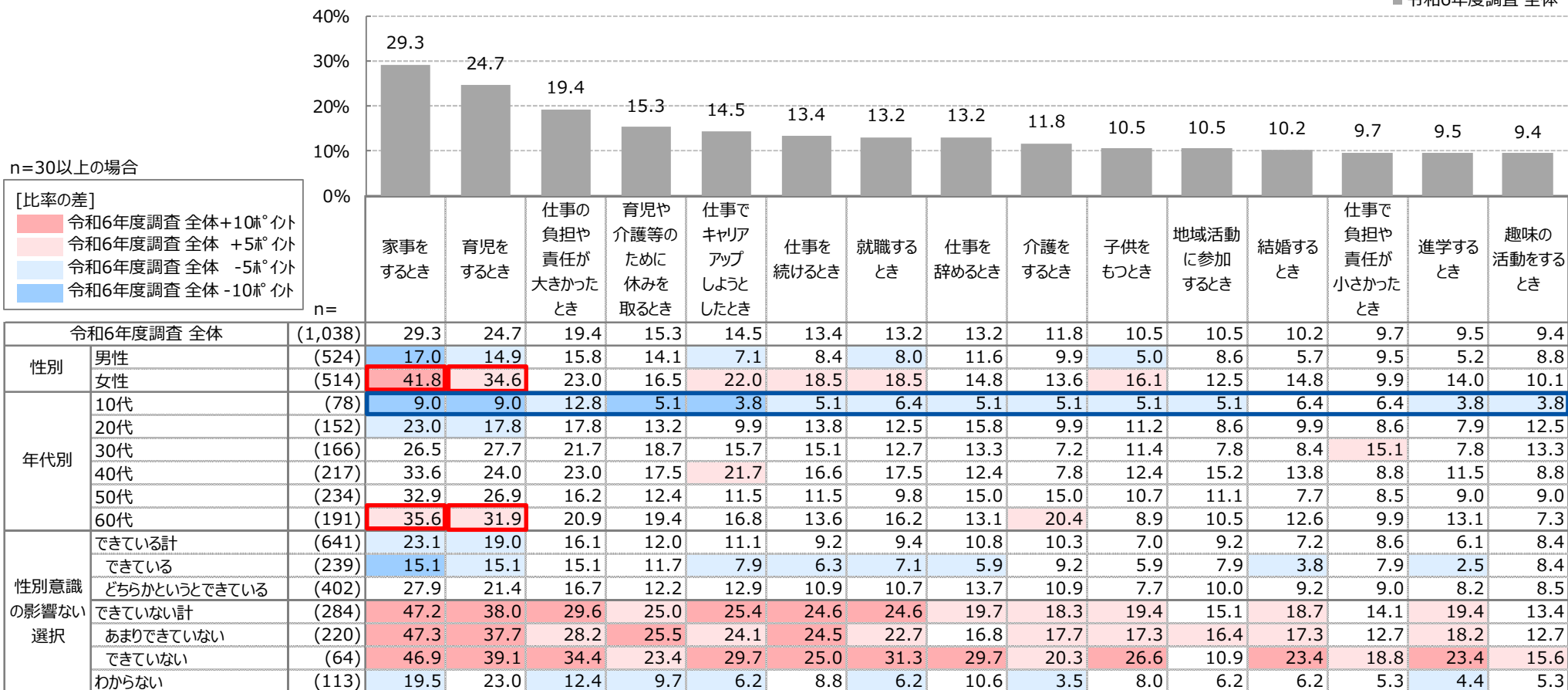
性別で見ると、全ての項目において女性は男性を上回る。特に、男性より「家事をするとき」が25pt、「育児をするとき」が20pt高い。

年代別で見ると、10代は「遭遇したことがない」場面が多いことから、全般的にスコアが低い。60代は「家事をするとき」と「育児をするとき」が他の年代よりやや高い。

Q8 あなたはこれまで以下の場面において「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識に影響されましたか。

SA

■ 令和6年度調査 全体



※スコアはマイナスに影響された・計（「ややマイナスに影響された」+「マイナスに影響された」） ※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

性別に関する意識について、影響を与えた存在

性別に関する意識について影響を与えた存在について「親」が34%でトップ。「配偶者・パートナー」(22%)「職場、上司、同僚」(17%)と続く。「他者からの影響を受けていない」は30%。

性別でみると、男性は「他者からの影響を受けていない」が35%と女性より10pt高い。

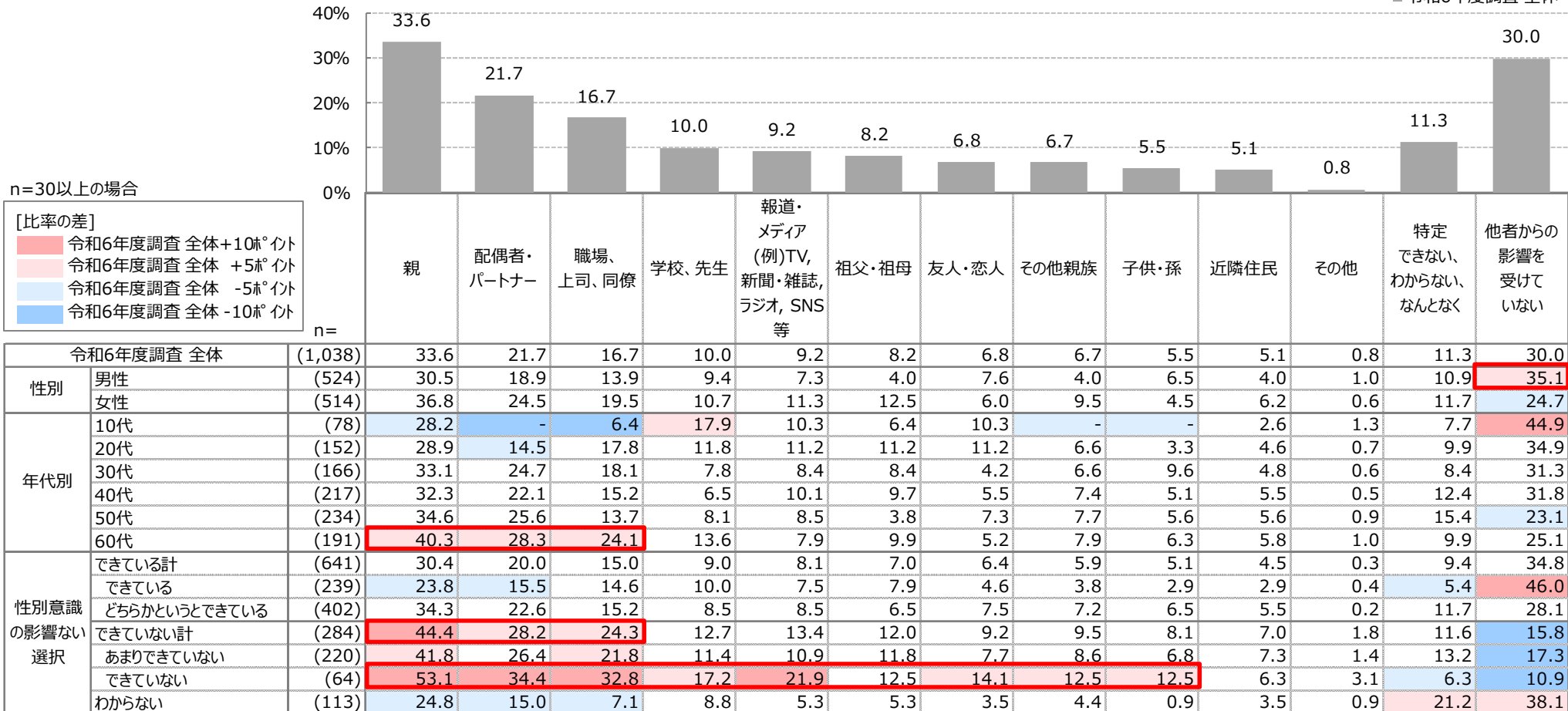
年代別でみると、60代は「親」や「配偶者・パートナー」、「職場、上司、同僚」が他の年代と比べてやや高い。

性別意識の影響ない選択別では、できていない計・できていないにおいて多くの項目でスコアが高い傾向が見られる。

Q9 「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識について、ご自身に影響を与えた存在として当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

MA

■ 令和6年度調査 全体



※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

男女の地位の平等感

令和6年度調査の男女の地位の平等感では、全ての項目において「男性優遇計」が「女性優遇計」を上回る。

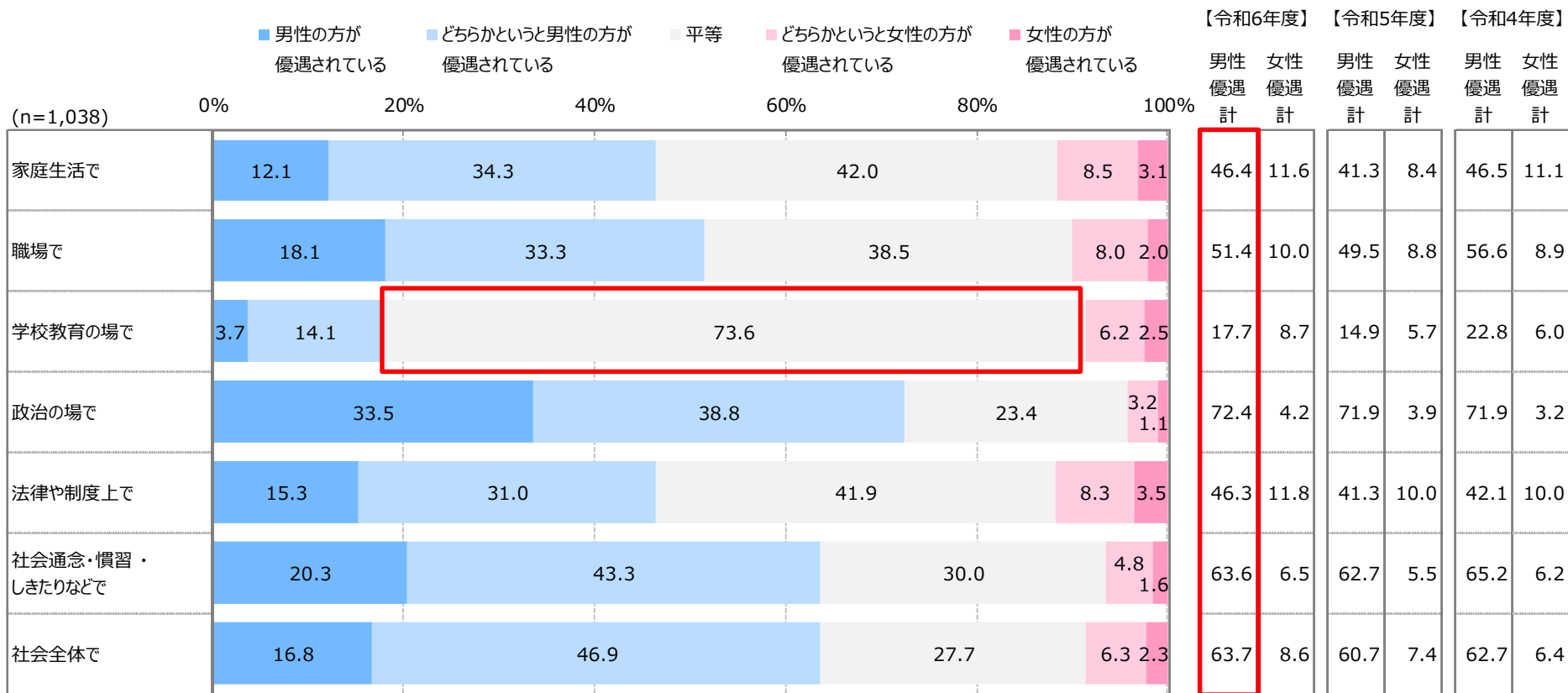
過去調査と比較してもその傾向は変わらない。

令和6年度調査では、過去調査と同様、特に『政治の場で』が「男性優遇計」72%と圧倒的に男性優遇であると感じられている。

『学校教育の場で』は「平等」が74%と他の項目と比較して最も平等であると感じられている。

Q10 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA



※男性優遇計（「男性の方が優遇されている」+「どちらかというと男性の方が優遇されている」）

※女性優遇計（「どちらかというと女性の方が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」）

男女の平等性_属性優遇

令和6年度調査の男性優遇のスコアは全項目において、令和5年度調査と比較して微増。

「家庭生活で」と「法律や制度上で」が令和5年度調査より5pt増加しているものの、令和4年度調査の水準に戻っている。

性別でみると、女性の方が全ての項目で男性優遇と感じている。

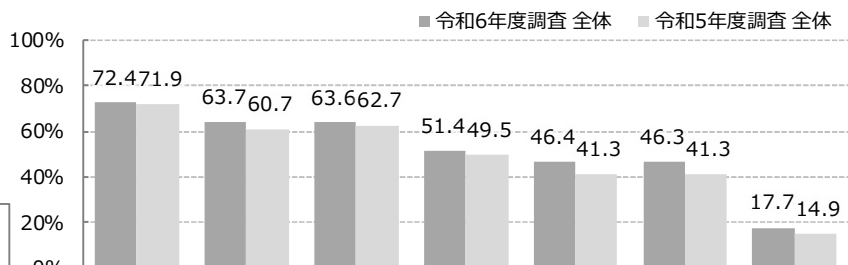
年代別でみると、60代がほとんどの項目で他の年代より高く、男性優遇を強く感じている様子。

令和6年度調査の女性優遇のスコアは令和5年度調査と比較して微増しているものの、令和4年度調査から比べると傾向はあまり変わらない。

Q10 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

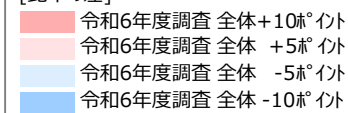
SA

男性優遇計



n=30以上の場合

[比率の差]



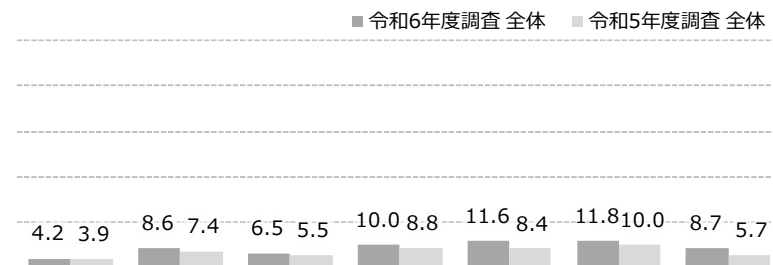
		n=	政治の場で	社会全体で	社会通念・慣習・しきたりなどで	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
令和4年度調査 全体		(1,000)	71.9	62.7	65.2	56.6	46.5	42.1	22.8
令和5年度調査 全体		(1,038)	71.9	60.7	62.7	49.5	41.3	41.3	14.9
令和6年度調査 全体		(1,038)	72.4	63.7	63.6	51.4	46.4	46.3	17.7
性別	男性	(524)	61.8	50.6	51.1	44.7	34.5	31.3	13.5
	女性	(514)	83.1	77.0	76.3	58.4	58.6	61.7	22.0
年代	10代	(78)	59.0	48.7	46.2	44.9	32.1	34.6	7.7
	20代	(152)	63.8	51.3	50.0	42.1	30.3	38.8	13.8
	30代	(166)	74.1	56.0	58.4	47.0	48.8	47.0	17.5
	40代	(217)	70.5	63.1	65.0	55.8	50.2	46.1	17.5
	50代	(234)	73.1	68.4	69.7	52.6	45.7	48.7	22.2
	60代	(191)	84.3	81.2	77.0	59.2	59.7	53.9	19.9
性別意識の影響がない選択	できている計	(641)	72.1	60.7	61.5	47.7	41.7	44.0	15.1
	できている	(239)	67.8	55.2	52.7	41.0	34.7	41.4	13.4
	どちらかというときいている	(402)	74.6	63.9	66.7	51.7	45.8	45.5	16.2
	できていない計	(284)	76.1	72.2	72.9	63.7	60.2	55.6	25.4
	あまりできていない	(220)	78.2	74.1	73.6	63.6	59.5	55.9	22.3
	できていない	(64)	68.8	65.6	70.3	64.1	62.5	54.7	35.9
わからない	(113)	64.6	59.3	52.2	41.6	38.9	36.3	13.3	

※スコアは男性優遇計（「男性の方が優遇されている」+「どちらかというとき男性の方が優遇されている」）

※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順ソート

© Macromill, Inc.

女性優遇計



		n=	政治の場で	社会全体で	社会通念・慣習・しきたりなどで	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
令和4年度調査 全体		(1,000)	3.2	6.4	6.2	8.9	11.1	10.0	6.0
令和5年度調査 全体		(1,038)	3.9	7.4	5.5	8.8	8.4	10.0	5.7
令和6年度調査 全体		(1,038)	4.2	8.6	6.5	10.0	11.6	11.8	8.7
性別	男性	(524)	6.3	12.6	10.5	12.6	14.3	17.4	10.7
	女性	(514)	2.1	4.5	2.3	7.4	8.8	6.0	6.6
年代	10代	(78)	5.1	16.7	10.3	10.3	17.9	12.8	17.9
	20代	(152)	7.2	14.5	10.5	15.1	17.8	18.4	11.2
	30代	(166)	3.6	10.2	10.8	15.1	9.6	19.3	7.2
	40代	(217)	5.5	8.8	6.0	9.2	11.5	12.4	10.6
	50代	(234)	3.4	6.8	4.7	7.7	11.1	7.3	8.1
	60代	(191)	1.6	1.0	0.5	5.2	6.3	4.2	2.6
性別意識の影響がない選択	できている計	(641)	3.6	8.7	6.9	9.4	11.1	12.3	8.4
	できている	(239)	3.3	6.3	7.1	9.2	13.0	13.8	9.6
	どちらかというときいている	(402)	3.7	10.2	6.7	9.5	10.0	11.4	7.7
	できていない計	(284)	4.9	8.5	5.3	11.3	12.0	9.5	9.9
	あまりできていない	(220)	2.7	6.8	3.2	10.9	10.0	7.7	9.5
	できていない	(64)	12.5	14.1	12.5	12.5	18.8	15.6	10.9
わからない	(113)	6.2	8.0	7.1	10.6	13.3	14.2	7.1	

※スコアは女性優遇計（「どちらかというとき女性の方が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」）

※「令和6年度調査 全体（男性優遇計）」のスコアで降順ソート

15

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』に対する意見は「賛成計」38%「反対計」63%と反対が6割程度。
 「賛成計」と「反対計」ともに令和5年度調査と比較して大幅に増加しているが、選択肢「わからない」を削除した影響だと考えられる。
 性別で見ると、女性の「反対計」のスコアが70%と男性と比較してスコアが高め。
 年代別で見ると、50代において「賛成計」がやや高い。一方で、60代では「賛成計」がやや低く、「反対計」がやや高い。

Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。
 次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

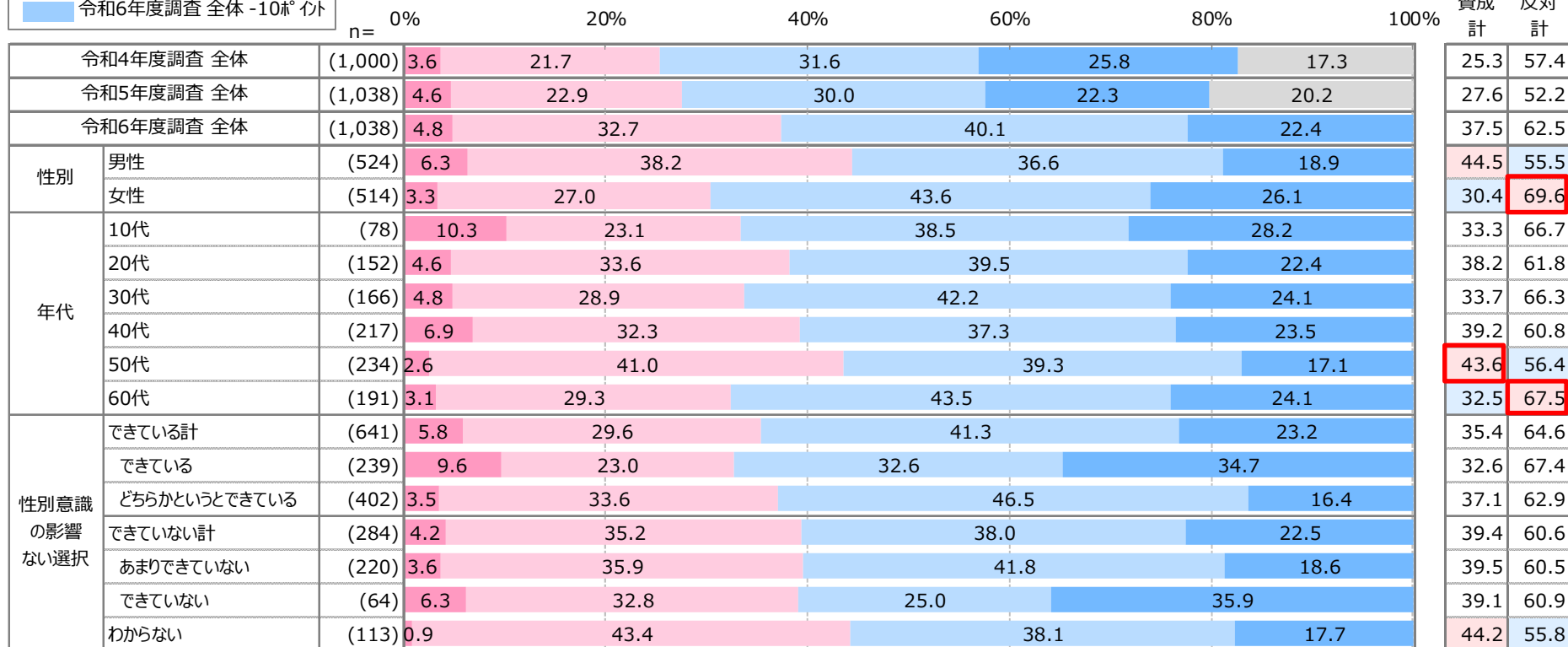
SA

n=30以上の場合

[比率の差]

令和6年度調査 全体+10ポイント
 令和6年度調査 全体 +5ポイント
 令和6年度調査 全体 -5ポイント
 令和6年度調査 全体 -10ポイント

■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ わからない ※1



※1：令和6年度調査では非聴取

※賛成計（「賛成」+「どちらかという賛成」） ※反対計（「どちらかという反対」+「反対」）

賛成理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

賛成理由について、「育児・介護・家事と両立～」が39%でトップ、「妻が家庭を守った方が～」(39%)が僅差で続き、「夫が外で働いた方が～」(34%)と続く。

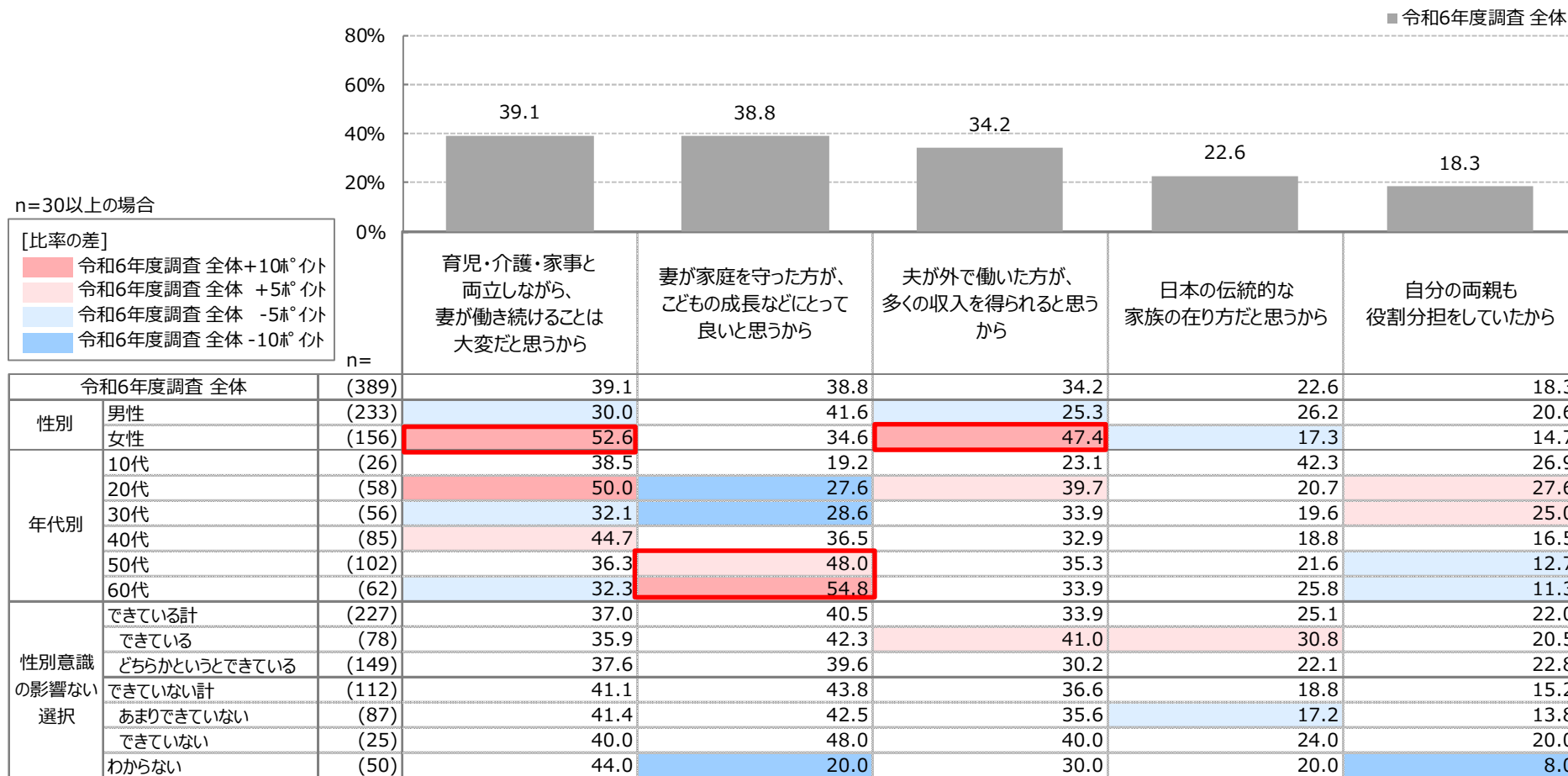
性別で見ると、女性は「育児・介護・家事と両立～」と「夫が外で働いた方が～」が男性より高い。

年代別で見ると、50～60代は「妻が家庭を守った方が～」が他の年代より高く、年齢層が高くなるほどスコアが高くなっている。

Q12 賛成と思うのはなぜですか。(いくつでも) ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の人ベース



※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

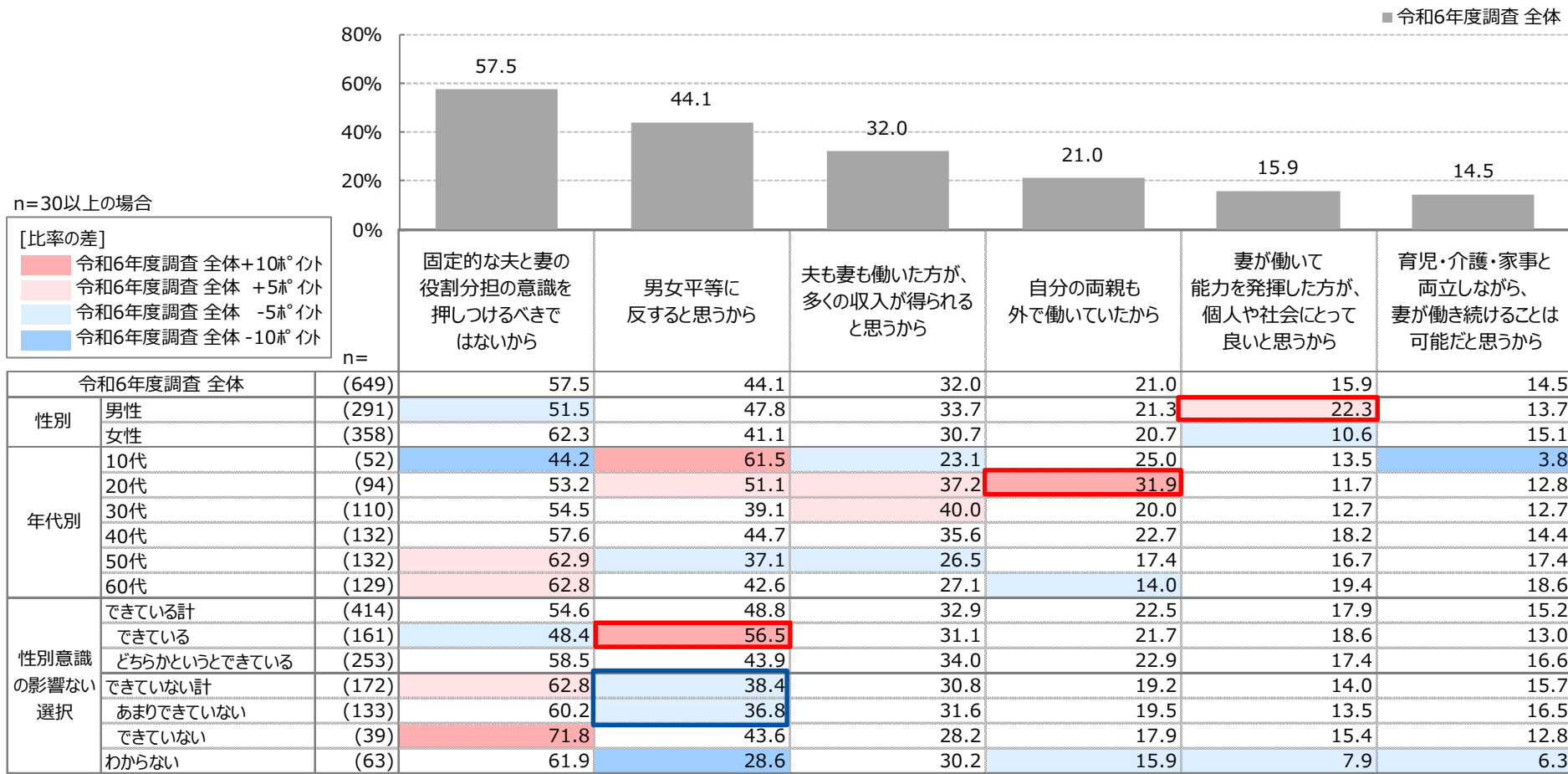
反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

反対理由について、「固定的な夫と妻の役割分担～」が58%でトップ、「男女平等に反すると思うから」(44%)「夫も妻も働いた方が～」(32%)と続く。性別で見ると、男性は「妻が働いて能力を發揮～」が女性よりやや高い。年代別で見ると、20代は「自分の両親も外で働いていたから」が高い。性別意識の影響ない選択別では、できているにおいて「男女平等に反すると思うから」が高い一方、できていない計、あまりできていないではやや低い。

Q13 反対と思うのはなぜですか。(いくつでも) ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対の人ベース



※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

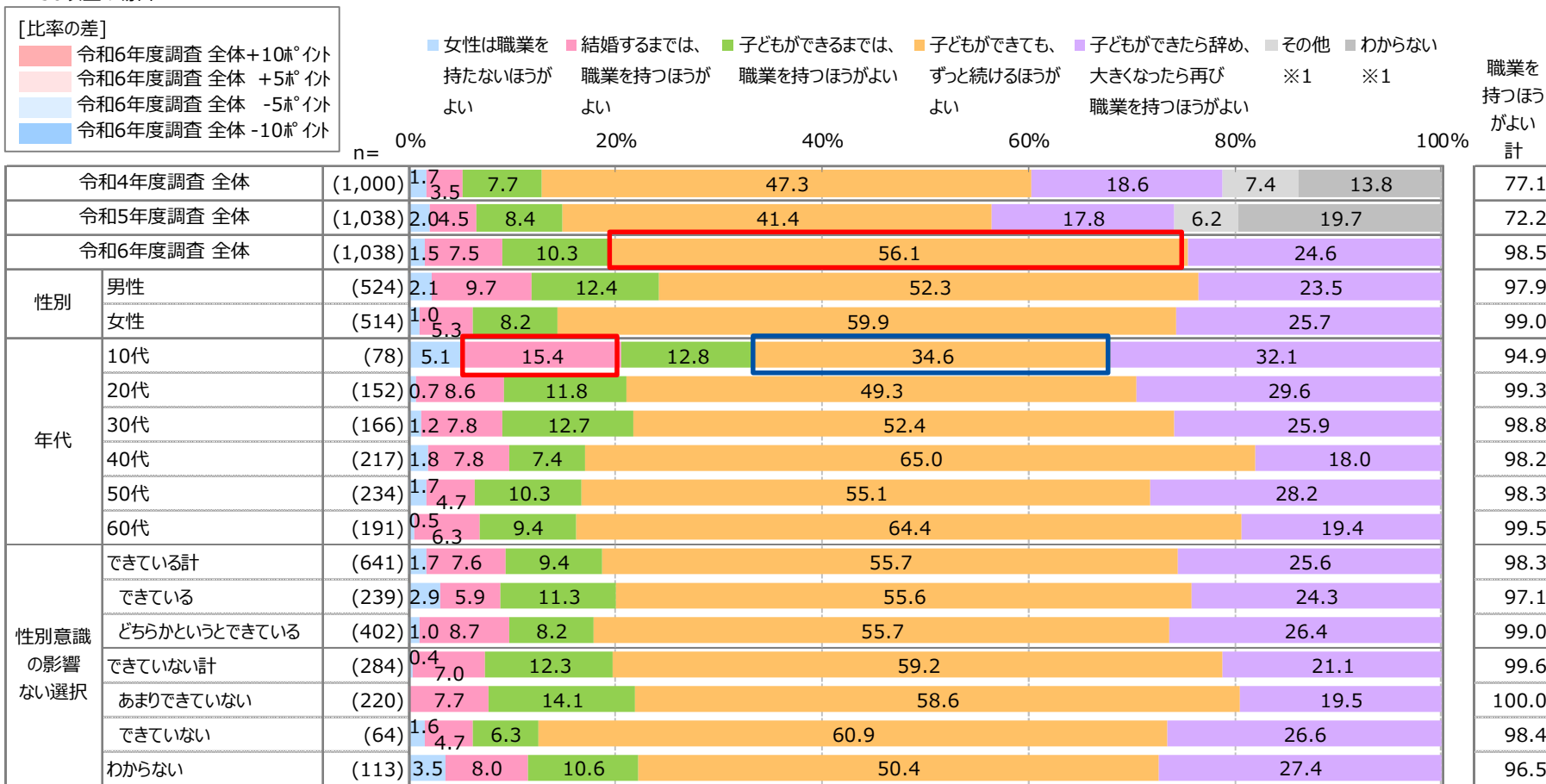
女性が職業を持つことに対する意見

令和6年度調査では、女性が職業を持つことに対する意見として「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が56%でトップ。
 「子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」(25%)「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」(10%)と続き、
 令和4年度調査から同様の傾向が見られる。
 年代別でみると、10代は「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が他の年代と比べて低い一方、「結婚するまでは、職業をもつほうがよい」が高い。

Q14 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。当てはまるものを1つだけ選んでください。
 ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

SA

n=30以上の場合



※1：令和6年度調査では非聴取

※職業を持つほうがよい計（「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」）

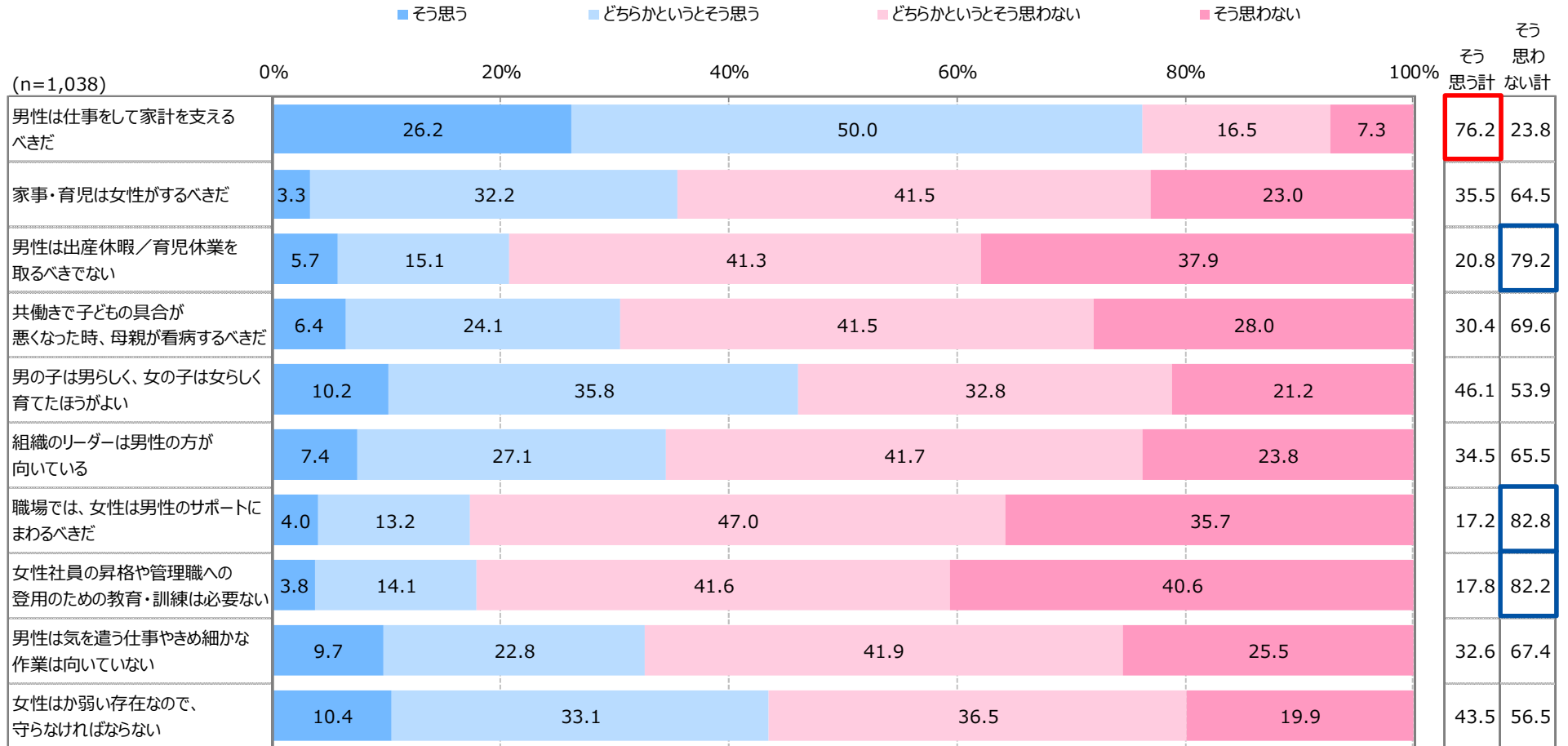
男女の役割に対する意見【全体】

男女の役割に対する意見では『男性は仕事をして家計を支えるべきだ』が「そう思う計」76%でトップ。

一方、『職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ』は「そう思わない計」が83%、『女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない』は82%、『男性は出産休暇/育児休業を取るべきでない』は79%と約8割代となり、他の項目と比べて高い。

Q15 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどうお考えですか。あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA



※そう思う計（「そう思う」+「どちらかというと思う」） ※そう思わない計（「どちらかというと思わない」+「そう思わない」）

男女の役割に対する意見【属性別】

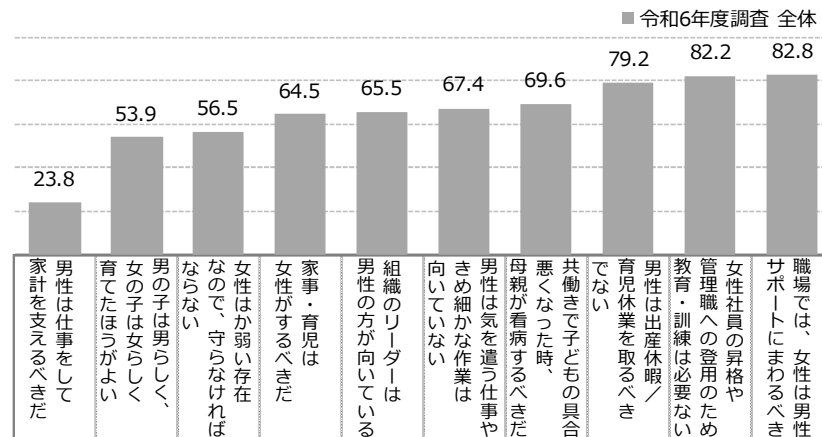
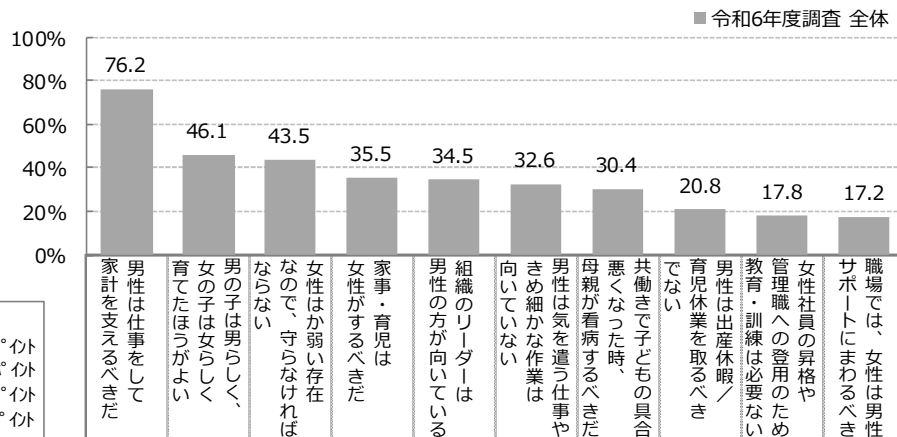
性別でみると『男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい』において、男性の「そう思う計」が60%である一方、女性は32%にとどまり、男女で差がみられる。
 年代別では10-30代の若年層において、『男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい』がやや低く、50代では高い。

Q15 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどうお考えですか。あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

そう思う計

そう思わない計



n=30以上の場合
 [比率の差]
 ■ 令和6年度調査 全体+10ポイント
 ■ 令和6年度調査 全体 +5ポイント
 ■ 令和6年度調査 全体 -5ポイント
 ■ 令和6年度調査 全体 -10ポイント

令和6年度調査 全体		n=	76.2	46.1	43.5	35.5	34.5	32.6	30.4	20.8	17.8	17.2
性別	男性	(524)	76.1	59.7	49.4	39.9	39.3	33.6	36.3	23.5	21.6	21.2
	女性	(514)	76.3	32.1	37.5	30.9	29.6	31.5	24.5	18.1	14.0	13.2
年代	10代	(78)	70.5	41.0	55.1	41.0	37.2	38.5	26.9	23.1	24.4	23.1
	20代	(152)	73.7	40.1	44.7	30.3	32.9	29.6	25.7	11.8	22.4	19.1
	30代	(166)	76.5	38.0	39.2	34.3	41.6	33.7	28.3	24.1	24.7	18.7
	40代	(217)	71.9	43.8	39.2	29.5	31.3	35.9	32.3	24.4	15.2	15.2
	50代	(234)	80.3	56.8	46.6	42.3	38.0	30.3	33.3	23.1	15.4	18.8
	60代	(191)	80.1	49.2	42.9	36.6	27.7	30.4	31.9	17.3	11.5	12.6
性別意識の影響 ない選択	できている計	(641)	76.1	44.6	43.2	33.4	32.0	30.1	28.4	19.0	15.6	15.3
	できている	(239)	75.3	39.3	41.0	31.4	31.0	32.2	25.9	22.2	16.7	15.5
	どちらかというできている	(402)	76.6	47.8	44.5	34.6	32.6	28.9	29.9	17.2	14.9	15.2
	できていない計	(284)	77.1	46.5	45.8	35.2	37.3	39.8	34.2	25.0	21.8	19.4
	あまりできていない	(220)	79.5	48.6	48.2	34.1	35.9	37.3	35.9	24.5	22.3	17.3
できていない	(64)	68.8	39.1	37.5	39.1	42.2	48.4	28.1	26.6	20.3	26.6	
わからない	(113)	74.3	53.1	39.8	47.8	41.6	28.3	32.7	20.4	20.4	23.0	

令和6年度調査 全体		n=	23.8	53.9	56.5	64.5	65.5	67.4	69.6	79.2	82.2	82.8
性別	男性	(524)	23.9	40.3	50.6	60.1	60.7	66.4	63.7	76.5	78.4	78.8
	女性	(514)	23.7	67.9	62.5	69.1	70.4	68.5	75.5	81.9	86.0	86.8
年代	10代	(78)	29.5	59.0	44.9	59.0	62.8	61.5	73.1	76.9	75.6	76.9
	20代	(152)	26.3	59.9	55.3	69.7	67.1	70.4	74.3	88.2	77.6	80.9
	30代	(166)	23.5	62.0	60.8	65.7	58.4	66.3	71.7	75.9	75.3	81.3
	40代	(217)	28.1	56.2	60.8	70.5	68.7	64.1	67.7	75.6	84.8	84.8
	50代	(234)	19.7	43.2	53.4	57.7	62.0	69.7	66.7	76.9	84.6	81.2
	60代	(191)	19.9	50.8	57.1	63.4	72.3	69.6	68.1	82.7	88.5	87.4
性別意識の影響 ない選択	できている計	(641)	23.9	55.4	56.8	66.6	68.0	69.9	71.6	81.0	84.4	84.7
	できている	(239)	24.7	60.7	59.0	68.6	69.0	67.8	74.1	77.8	83.3	84.5
	どちらかというできている	(402)	23.4	52.2	55.5	65.4	67.4	71.1	70.1	82.8	85.1	84.8
	できていない計	(284)	22.9	53.5	54.2	64.8	62.7	60.2	65.8	75.0	78.2	80.6
	あまりできていない	(220)	20.5	51.4	51.8	65.9	64.1	62.7	64.1	75.5	77.7	82.7
できていない	(64)	31.3	60.9	62.5	60.9	57.8	51.6	71.9	73.4	79.7	73.4	
わからない	(113)	25.7	46.9	60.2	52.2	58.4	71.7	67.3	79.6	79.6	77.0	

※スコアはそう思う計 (「そう思う」+「どちらかというと思う」)

※スコアはそう思わない計 (「どちらかというと思わない」+「そう思わない」)

※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順ソート

※「令和6年度調査 全体 (そう思う計)」のスコアで降順ソート

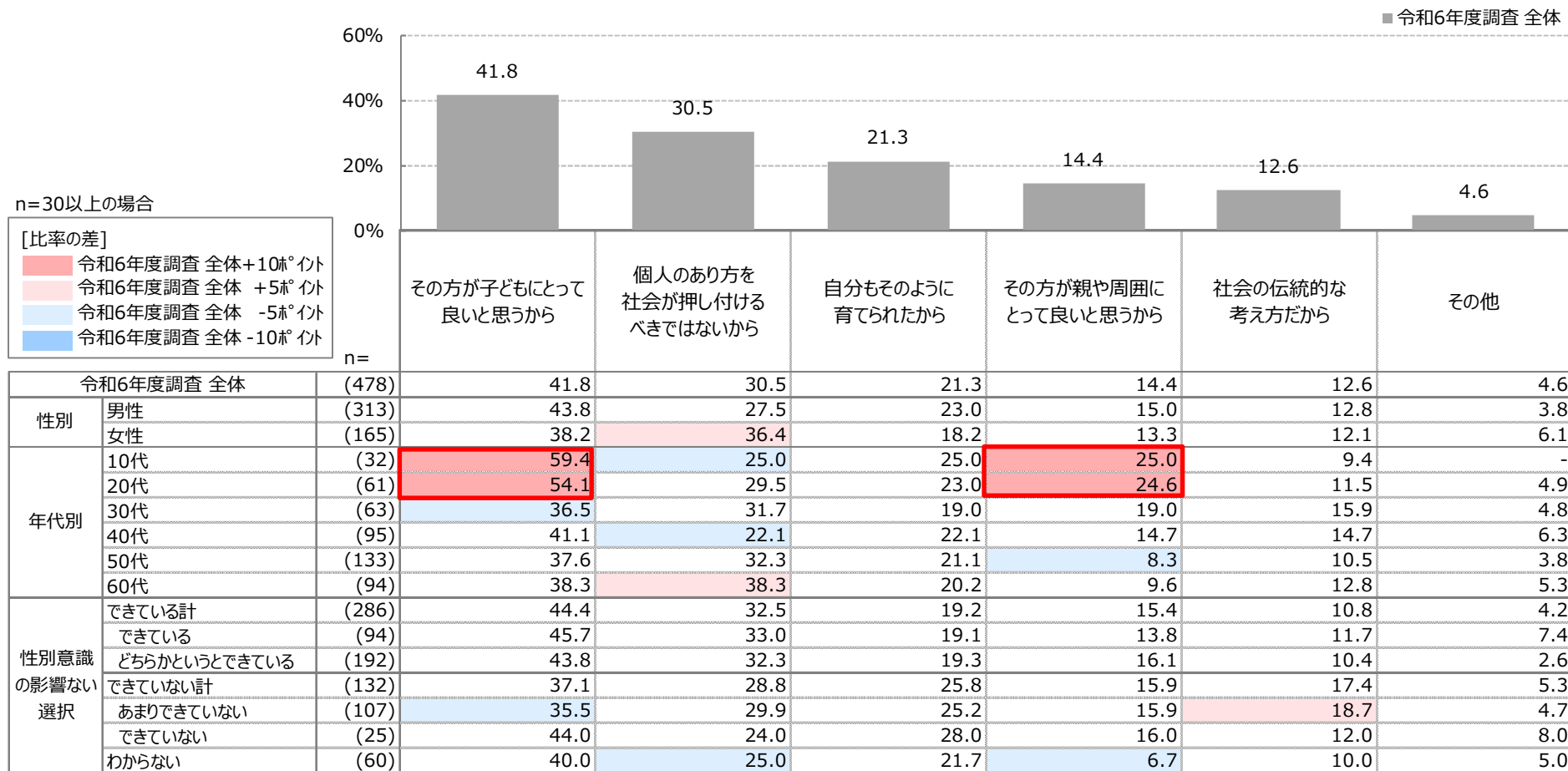
「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」の回答理由（そう思う）

「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」の回答理由（そう思う・どちらかというと思うと回答した人ベース）では「その方が子どもにとって良いと思うから」が42%と高い。「個人のあり方を社会が押し付けるべきではないから」(31%)、「自分もそのように育てられたから」(21%)と続く。年代別で見ると、10-20代の若年層では、「その方が子どもにとって良いと思うから」、「その方が親や周囲にとって良いと思うから」が他の年代と比べて高い。

Q16 前問「5. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」について【Q15S5の選択内容】と回答した理由としてあてはまるものを教えてください。（いくつでも）

MA

※「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」(Q15S5)をそう思う・どちらかというと思うと回答した人ベース



※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」の回答理由（そう思わない）

「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」の回答理由（そう思わない・どちらかというと思わないと回答した人ベース）では「個人のあり方を社会が押し付けるべきではないから」が71%と突出して高い。「その方が子どもにとって良いと思うから」(31%)と続く。

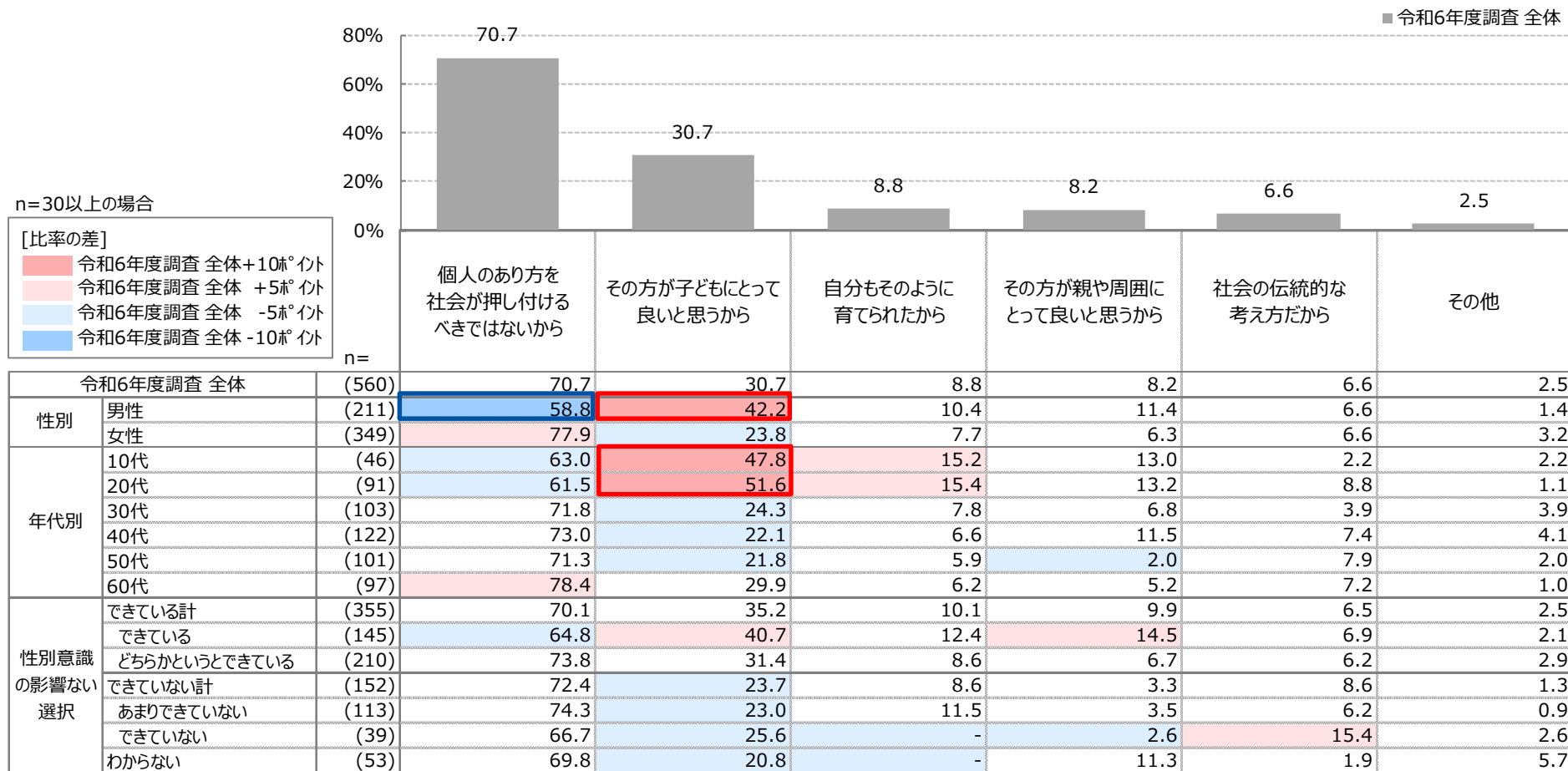
性別で見ると、男性は「個人のあり方を社会が押し付けるべきではないから」が60%と女性と比べて低い一方で、「その方が子どもにとって良いと思うから」が42%と女性と比べて高い。

年代別で見ると、10-20代は「その方が子どもにとって良いと思うから」が他の年代より高い。

Q16 前問「5. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」について【Q15S5の選択内容】と回答した理由としてあてはまるものを教えてください。（いくつでも）

MA

※「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」(Q15S5)をそう思わない・どちらかというと思わないと回答した人ベース



※「令和6年度調査 全体」のスコアで降順にソート

2. 内閣府のデータ比較（全国と広島県の比較）

【全体・性別・年代別】男女の平等性_属性優遇・平等

広島県_全体では、全国_全体と比較して、「法律や制度上で」と「学校教育の場で」を除くほとんどの項目で男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。平等になっているという意識が、全国に比べて高い。

性別や、年代別の18歳～30代・50代も同様の傾向。60代は、他の年代より全国と広島県の差は小さい。

Q10 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

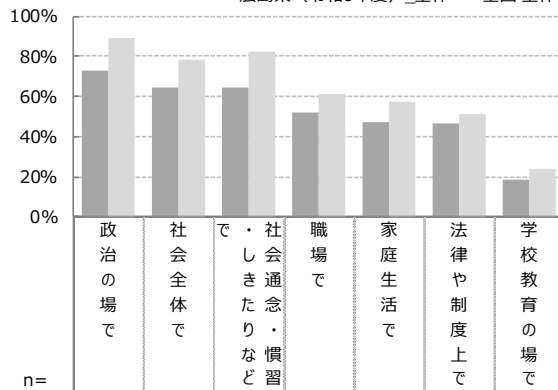
女性優遇計

平等

■ 広島県 (令和6年度) _全体 ■ 全国 全体

■ 広島県 (令和6年度) _全体 ■ 全国 全体

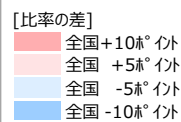
■ 広島県 (令和6年度) _全体 ■ 全国 全体



項目	政治の場で	社会全体で	で・社会通念・慣習	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
全国 全体	1.6	5.9	3.7	9.2	8.7	11.9	5.6
広島県 (令和6年度) _全体	4.3	8.1	6.3	10.1	11.2	11.6	8.2
性別							
男性	2.9	9.9	5.9	12.9	12.6	17.5	7.1
女性	6.4	12.2	10.4	12.8	14.4	17.2	10.0
年代							
18~29歳	0.5	2.4	1.7	5.8	5.3	7.1	4.2
30代	2.2	3.9	2.0	7.3	8.0	5.9	6.3
40代	1.1	11.4	8.5	10.7	13.2	16.9	13.2
50代	7.7	14.3	10.4	14.8	17.6	17.0	12.1
60代	2.0	7.8	3.9	15.0	10.1	19.5	6.2
全国	3.6	10.2	10.8	15.1	9.6	19.3	7.2
広島県 (令和6年度)	2.0	6.1	4.7	7.0	10.4	15.3	5.9
全国	5.5	8.8	6.0	9.2	11.5	12.4	10.6
広島県 (令和6年度)	2.0	4.4	1.8	8.2	5.6	9.4	3.4
全国	3.4	6.8	4.7	7.7	11.1	7.3	8.1
広島県 (令和6年度)	1.0	3.0	2.0	7.6	7.0	4.2	3.0
全国	1.6	1.0	0.5	5.2	6.3	4.2	2.6

項目	政治の場で	社会全体で	で・社会通念・慣習	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
全国 全体	8.8	14.5	12.3	29.1	33.3	36.0	69.1
広島県 (令和6年度) _全体	22.7	27.4	29.3	37.8	41.6	41.5	73.5
性別							
男性	13.1	19.8	16.2	34.4	40.5	44.5	73.5
女性	31.6	36.4	37.8	42.0	51.0	51.2	76.0
年代							
18~29歳	5.0	9.9	8.9	24.6	27.0	28.5	65.3
30代	13.7	18.2	20.6	33.5	32.0	31.6	71.0
40代	13.2	19.9	21.7	32.0	42.3	39.7	71.3
50代	29.7	34.1	40.1	40.7	51.6	45.1	74.7
60代	8.1	15.0	12.1	28.0	33.2	34.2	73.6
全国	22.3	33.7	30.7	38.0	41.6	33.7	75.3
広島県 (令和6年度)	9.3	16.0	11.5	31.4	33.9	35.4	69.8
全国	24.0	28.1	29.0	35.0	38.2	41.5	71.9
広島県 (令和6年度)	7.4	11.4	11.8	27.3	31.9	33.9	68.9
全国	23.5	24.8	25.6	39.7	43.2	44.0	69.7
広島県 (令和6年度)	7.8	13.1	8.5	28.0	29.2	37.6	64.8
全国	14.1	17.8	22.5	35.6	34.0	41.9	77.5

n=30以上の場合



※同じ属性の項目で差分を色付け

n=

性別	年代	項目	n	政治の場で	社会全体で	で・社会通念・慣習	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
全国 全体			(2,026)	89.2	78.0	82.0	61.2	57.7	51.4	24.0
広島県 (令和6年度) _全体			(990)	72.9	64.5	64.4	52.1	47.2	46.9	18.3
性別	男性	全国	(943)	83.8	68.7	75.9	52.4	46.7	37.6	18.7
		広島県 (令和6年度)	(500)	62.0	51.4	51.8	45.2	34.6	31.6	14.0
女性	全国	(1,083)	93.8	86.1	87.4	68.8	67.3	63.3	28.7	
	広島県 (令和6年度)	(490)	84.1	78.0	77.3	59.2	60.0	62.4	22.7	
年代	18~29歳	全国	(272)	85.7	67.3	68.0	56.3	44.5	43.4	15.4
		広島県 (令和6年度)	(182)	62.6	51.6	49.5	44.5	30.8	37.9	13.2
	30代	全国	(307)	89.6	74.9	81.4	56.7	56.7	45.6	19.9
		広島県 (令和6年度)	(166)	74.1	56.0	58.4	47.0	48.8	47.0	17.5
	40代	全国	(443)	88.3	76.7	82.2	61.4	55.5	49.0	23.7
		広島県 (令和6年度)	(217)	70.5	63.1	65.0	55.8	50.2	46.1	17.5
50代	全国	(501)	90.2	82.4	84.2	64.3	62.1	55.9	26.1	
	広島県 (令和6年度)	(234)	73.1	68.4	69.7	52.6	45.7	48.7	22.2	
60代	全国	(503)	90.5	82.3	87.7	63.2	63.0	56.9	29.4	
	広島県 (令和6年度)	(191)	84.3	81.2	77.0	59.2	59.7	53.9	19.9	

※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※「広島県 (令和6年度) _全体 (男性優遇計)」のスコアで降順ソート

【性年代別】男女の平等性_属性優遇・平等

男性×年代別では、いずれの年代も全国と比べて「政治の場で」「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」の男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。

女性×年代別では、18～40代は全国と比べて「社会通念・慣習・しきたりなどで」と「社会全体で」の男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。女性30代は全国と比べて「法律や制度上で」の男性優遇のスコアが高く、平等のスコアが低い。60代は他の年代より全国との差は小さい。

Q10 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

女性優遇計

平等

n=30以上の場合

[比率の差]	
全国+10%以上	△
全国+5%以上	□
全国-5%以内	□
全国-10%以内	□

※同じ属性の項目で差分を色付け

		n=	家庭生活で	職場で	学校教育の場で	政治の場で	法律や制度上で	で・社会通念・慣習	社会全体で
全国 男性全体		(943)	46.7	52.4	18.7	83.8	37.6	75.9	68.7
広島県 (令和6年度) 男性全体		(500)	34.6	45.2	14.0	62.0	31.6	51.8	51.4
男性 × 年代別	18~29歳	全国	35.4	50.4	8.7	79.5	26.8	61.4	55.1
		広島県 (令和6年度)	26.3	45.3	9.5	50.5	24.2	38.9	37.9
	30代	全国	47.0	47.0	16.7	82.6	35.6	72.7	60.6
		広島県 (令和6年度)	32.9	42.4	16.5	62.4	27.1	47.1	41.2
	40代	全国	40.0	50.0	18.5	80.0	32.0	71.0	63.5
		広島県 (令和6年度)	39.1	46.4	11.8	60.9	29.1	50.9	50.0
	50代	全国	53.1	53.5	20.8	84.5	41.2	79.2	76.1
		広島県 (令和6年度)	28.2	41.0	17.1	62.4	35.0	57.3	53.8
	60代	全国	51.6	57.0	22.9	88.8	45.3	85.7	77.1
		広島県 (令和6年度)	47.3	51.6	15.1	74.2	41.9	63.4	73.1
全国 女性全体		(1,083)	67.3	68.8	28.7	93.8	63.3	87.4	86.1
広島県 (令和6年度) 女性全体		(490)	60.0	59.2	22.7	84.1	62.4	77.3	78.0
女性 × 年代別	18~29歳	全国	52.4	61.4	21.4	91.0	57.9	73.8	77.9
		広島県 (令和6年度)	35.6	43.7	17.2	75.9	52.9	60.9	66.7
	30代	全国	64.0	64.0	22.3	94.9	53.1	88.0	85.7
		広島県 (令和6年度)	65.4	51.9	18.5	86.4	67.9	70.4	71.6
	40代	全国	68.3	70.8	28.0	95.1	63.0	91.4	87.7
		広島県 (令和6年度)	61.7	65.4	23.4	80.4	63.6	79.4	76.6
	50代	全国	69.5	73.1	30.5	94.9	68.0	88.4	87.6
		広島県 (令和6年度)	63.2	64.1	27.4	83.8	62.4	82.1	82.9
	60代	全国	75.1	69.8	36.3	92.2	69.0	89.8	87.8
		広島県 (令和6年度)	71.4	66.3	24.5	93.9	65.3	89.8	88.8

		n=	家庭生活で	職場で	学校教育の場で	政治の場で	法律や制度上で	で・社会通念・慣習	社会全体で
全国 女性全体		(1,083)	40.5	34.4	73.5	13.1	44.5	16.2	19.8
広島県 (令和6年度) 女性全体		(490)	51.0	42.0	76.0	31.6	51.2	37.8	36.4
女性 × 年代別	18~29歳	全国	46.5	37.0	76.4	18.9	44.9	25.2	24.4
		広島県 (令和6年度)	55.8	40.0	74.7	38.9	50.5	44.2	40.0
	30代	全国	43.2	31.8	73.5	13.6	37.1	18.2	24.2
		広島県 (令和6年度)	55.3	37.6	72.9	31.8	43.5	37.6	44.7
	40代	全国	42.0	37.5	73.0	15.5	44.5	17.5	24.0
		広島県 (令和6年度)	44.5	41.8	77.3	32.7	54.5	39.1	38.2
	50代	全国	37.2	33.6	73.5	11.9	45.6	15.9	15.0
		広島県 (令和6年度)	56.4	47.0	72.6	30.8	52.1	33.3	34.2
	60代	全国	38.0	32.6	72.5	9.3	47.3	10.1	16.3
		広島県 (令和6年度)	43.0	41.9	82.8	23.7	53.8	35.5	25.8
全国 男性全体		(943)	12.6	12.9	7.1	2.9	17.5	5.9	9.9
広島県 (令和6年度) 男性全体		(500)	14.4	12.8	10.0	6.4	17.2	10.4	12.2
男性 × 年代別	18~29歳	全国	18.1	11.8	15.0	1.6	28.3	12.6	19.7
		広島県 (令和6年度)	17.9	14.7	15.8	10.5	25.3	16.8	22.1
	30代	全国	9.8	21.2	9.8	3.8	27.3	6.8	12.9
		広島県 (令和6年度)	11.8	20.0	10.6	5.9	29.4	15.3	14.1
	40代	全国	18.0	12.5	8.0	4.5	23.5	9.0	11.0
		広島県 (令和6年度)	16.4	11.8	10.9	6.4	16.4	10.0	11.8
	50代	全国	9.7	12.8	4.4	3.5	13.3	3.1	7.5
		広島県 (令和6年度)	15.4	12.0	10.3	6.8	12.8	9.4	12.0
	60代	全国	9.7	9.7	3.5	1.2	6.2	2.3	4.7
		広島県 (令和6年度)	9.7	6.5	2.2	2.2	4.3	1.1	1.1
全国 女性全体		(1,083)	5.3	5.8	4.2	0.5	7.1	1.7	2.4
広島県 (令和6年度) 女性全体		(490)	8.0	7.3	6.3	2.2	5.9	2.0	3.9
女性 × 年代別	18~29歳	全国	9.0	9.7	11.7	0.7	6.9	4.8	4.1
		広島県 (令和6年度)	17.2	14.9	8.0	4.6	8.0	3.4	5.7
	30代	全国	10.3	10.3	3.4	0.6	13.7	1.7	4.0
		広島県 (令和6年度)	7.4	9.9	3.7	1.2	8.6	6.2	6.2
	40代	全国	4.1	2.5	4.1	4.1	8.6	1.2	2.1
		広島県 (令和6年度)	6.5	6.5	10.3	4.7	8.4	1.9	5.6
	50代	全国	2.2	4.4	2.5	0.7	6.2	0.7	1.8
		広島県 (令和6年度)	6.8	3.4	6.0	-	1.7	-	1.7
	60代	全国	4.1	5.3	2.4	0.8	2.0	1.6	1.2
		広島県 (令和6年度)	3.1	4.1	3.1	1.0	4.1	-	1.0

※全国 男性・女性全体については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【エリア別】男女の平等性_属性優遇・平等

エリア別でみると、広島県_全体は各エリアと比較して、「法律や制度上で」と「学校教育の場で」を除くほとんどの項目で男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。北海道と比較すると全ての項目で男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。女性優遇のスコアについて、広島県_全体は各エリアと比較してあまり差が見られない。

Q10 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

女性優遇計

平等

n=30以上の場合

[比率の差]	
広島県 (令和6年度) _全体+10ポイント	赤
広島県 (令和6年度) _全体+5ポイント	桃
広島県 (令和6年度) _全体-5ポイント	青
広島県 (令和6年度) _全体-10ポイント	水

		(%)						
		政治の場で	社会全体で	で・社会しきたり・慣習	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
広島県 (令和6年度) _全体	(990)	72.9	64.5	64.4	52.1	47.2	46.9	18.3
全国_全体	(2,026)	89.2	78.0	82.0	61.2	57.7	51.4	24.0
エリア別								
北海道	(127)	89.8	84.3	83.5	70.9	60.6	59.1	38.6
東北	(207)	89.9	73.4	75.4	64.3	66.7	52.2	20.8
関東	(958)	88.3	79.4	81.1	61.2	56.4	55.0	27.0
北陸	(115)	86.1	81.7	87.0	70.4	67.8	53.0	24.3
東山	(116)	85.3	75.0	81.9	60.3	53.4	48.3	26.7
東海	(297)	87.5	76.8	82.5	67.0	54.2	48.8	23.9
近畿	(448)	88.8	79.7	83.9	64.5	62.5	49.8	21.4
中国	(177)	89.8	81.4	85.9	60.5	63.8	52.5	22.6
四国	(79)	83.5	74.7	79.7	58.2	59.5	41.8	20.3
九州	(323)	85.1	78.6	80.5	69.0	63.8	52.0	20.1

※エリア別については、18~70代以上を含めたデータ。

※全国_全体については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

		(%)						
		政治の場で	社会全体で	で・社会しきたり・慣習	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
広島県 (令和6年度) _全体		4.3	8.1	6.3	10.1	11.2	11.6	8.2
全国_全体		1.6	5.9	3.7	9.2	8.7	11.9	5.6
エリア別								
北海道		3.1	5.5	4.7	7.9	7.9	15.0	6.3
東北		0.5	5.8	3.4	9.7	9.2	6.8	5.3
関東		2.3	4.9	3.4	8.4	7.7	9.9	5.6
北陸		0.9	2.6	1.7	6.1	4.3	7.0	4.3
東山		-	2.6	2.6	6.9	8.6	6.9	3.4
東海		2.4	6.4	3.7	8.4	10.8	10.8	6.7
近畿		0.4	5.6	3.3	5.8	8.7	9.8	4.2
中国		4.5	3.4	1.7	9.6	5.1	11.3	7.9
四国		-	5.1	-	8.9	6.3	8.9	3.8
九州		0.9	3.7	4.6	6.2	7.4	9.0	4.0

		(%)						
		政治の場で	社会全体で	で・社会しきたり・慣習	職場で	家庭生活で	法律や制度上で	学校教育の場で
広島県 (令和6年度) _全体		22.7	27.4	29.3	37.8	41.6	41.5	73.5
全国_全体		8.8	14.5	12.3	29.1	33.3	36.0	69.1
エリア別								
北海道		7.1	9.4	10.2	20.5	31.5	25.2	54.3
東北		8.7	19.8	18.8	23.7	23.7	38.6	70.5
関東		8.7	14.6	14.3	28.8	35.2	34.3	65.4
北陸		13.0	13.9	9.6	22.6	27.8	40.0	69.6
東山		12.9	20.7	14.7	30.2	37.1	43.1	67.2
東海		9.8	15.5	12.5	23.6	34.7	39.4	67.7
近畿		9.8	12.9	10.7	28.1	28.1	39.5	72.5
中国		5.1	13.6	9.6	28.2	30.5	35.0	67.2
四国		13.9	17.7	17.7	27.8	34.2	46.8	70.9
九州		12.7	13.3	10.5	22.3	28.2	37.8	73.4

※「広島県 (令和6年度) _全体 (男性優遇計)」のスコアで降順ソート

【エリア別×性別】男女の平等性_属性優遇・平等

エリア別×男性でみると、広島県_男性全体は「学校教育の場で」を除くほとんどの項目で男性優遇のスコアが全国より低く、平等のスコアが高い。
 エリア別×女性でみると、広島県_女性全体は「法律や制度上で」を除くほとんどの項目で男性優遇のスコアが全国より低く、平等のスコアが高い。

Q10 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

女性優遇計

平等

n=30以上の場合		男性優遇計 (%)								女性優遇計 (%)								平等 (%)							
[比率の差]		家庭生活で	職場で	学校教育の場で	政治の場で	法律や制度上で	で・社会通念・慣習	社会全体で	家庭生活で	職場で	学校教育の場で	政治の場で	法律や制度上で	で・社会通念・慣習	社会全体で	家庭生活で	職場で	学校教育の場で	政治の場で	法律や制度上で	で・社会通念・慣習	社会全体で			
広島県 (令和6年度) _男性	(500)	34.6	45.2	14.0	62.0	31.6	51.8	51.4	14.4	12.8	10.0	6.4	17.2	10.4	12.2	51.0	42.0	76.0	31.6	51.2	37.8	36.4			
全国_男性	(943)	46.7	52.4	18.7	83.8	37.6	75.9	68.7	12.6	12.9	7.1	2.9	17.5	5.9	9.9	40.5	34.4	73.5	13.1	44.5	16.2	19.8			
エリア別 × 男性	北海道	(60)	51.7	65.0	30.0	83.3	45.0	71.7	11.7	10.0	6.7	3.3	21.7	8.3	8.3	36.7	25.0	61.7	13.3	33.3	16.7	15.0			
	東北	(95)	57.9	61.1	18.9	89.5	43.2	73.7	12.6	13.7	4.2	1.1	11.6	2.1	8.4	29.5	24.2	74.7	9.5	45.3	23.2	22.1			
	関東	(441)	44.4	55.8	20.6	85.0	42.0	76.0	10.9	10.2	7.5	3.4	14.1	4.8	7.9	43.5	32.9	70.5	10.9	43.1	17.9	19.7			
	北陸	(52)	57.7	53.8	15.4	76.9	34.6	78.8	5.8	9.6	7.7	1.9	9.6	1.9	3.8	36.5	36.5	76.9	21.2	55.8	19.2	25.0			
	東山	(54)	44.4	53.7	22.2	83.3	40.7	72.2	11.1	9.3	3.7	-	9.3	5.6	5.6	44.4	37.0	74.1	16.7	50.0	20.4	29.6			
	東海	(147)	45.6	61.2	22.4	83.7	38.1	81.6	15.0	11.6	7.5	4.8	17.0	6.8	10.9	39.5	26.5	70.1	11.6	44.9	11.6	15.6			
	近畿	(213)	54.0	60.6	15.0	84.0	40.8	77.9	10.8	7.0	3.3	0.5	13.1	5.2	7.0	34.7	31.5	80.3	14.6	45.1	14.6	18.3			
	中国	(82)	58.5	51.2	15.9	86.6	43.9	85.4	4.9	13.4	12.2	8.5	18.3	3.7	7.3	36.6	35.4	70.7	4.9	37.8	11.0	17.1			
	四国	(32)	50.0	50.0	15.6	78.1	34.4	71.9	6.3	15.6	6.3	-	6.3	-	6.3	43.8	31.3	75.0	21.9	59.4	21.9	28.1			
九州	(137)	51.8	59.1	12.4	78.8	35.8	75.2	13.1	10.2	5.1	1.5	12.4	5.1	5.8	35.0	29.2	82.5	19.7	51.8	13.9	19.7				
広島県 (令和6年度) _女性	(490)	60.0	59.2	22.7	84.1	62.4	77.3	78.0	8.0	7.3	6.3	2.2	5.9	2.0	3.9	32.0	33.5	71.0	13.7	31.6	20.6	18.2			
全国_女性	(1,083)	67.3	68.8	28.7	93.8	63.3	87.4	86.1	5.3	5.8	4.2	0.5	7.1	1.7	2.4	27.0	24.6	65.3	5.0	28.5	8.9	9.9			
エリア別 × 女性	北海道	(67)	68.7	76.1	46.3	95.5	71.6	94.0	4.5	6.0	6.0	3.0	9.0	1.5	3.0	26.9	16.4	47.8	1.5	17.9	4.5	4.5			
	東北	(112)	74.1	67.0	22.3	90.2	59.8	76.8	6.3	6.3	6.3	-	2.7	4.5	3.6	18.8	23.2	67.0	8.0	33.0	15.2	17.9			
	関東	(517)	66.5	65.8	32.5	91.1	66.2	85.5	5.0	6.8	4.1	1.4	6.4	2.3	2.3	28.0	25.3	61.1	6.8	26.9	11.2	10.3			
	北陸	(63)	76.2	84.1	31.7	93.7	68.3	93.7	3.2	3.2	1.6	-	4.8	1.6	1.6	20.6	11.1	63.5	6.3	27.0	1.6	4.8			
	東山	(62)	61.3	66.1	30.6	87.1	54.8	90.3	6.5	4.8	3.2	-	4.8	-	-	30.6	24.2	61.3	9.7	37.1	9.7	12.9			
	東海	(150)	62.7	72.7	25.3	91.3	59.3	83.3	6.7	5.3	6.0	-	4.7	0.7	2.0	30.0	20.7	65.3	8.0	34.0	13.3	15.3			
	近畿	(235)	70.2	68.1	27.2	93.2	57.9	89.4	6.8	4.7	5.1	0.4	6.8	1.7	4.3	22.1	25.1	65.5	5.5	34.5	7.2	8.1			
	中国	(95)	68.4	68.4	28.4	92.6	60.0	86.3	5.3	6.3	4.2	1.1	5.3	-	-	25.3	22.1	64.2	5.3	32.6	8.4	10.5			
	四国	(47)	66.0	63.8	23.4	87.2	46.8	85.1	6.4	4.3	2.1	-	10.6	-	4.3	27.7	25.5	68.1	8.5	38.3	14.9	10.6			
九州	(186)	72.6	76.3	25.8	89.8	64.0	84.4	3.2	3.2	3.2	0.5	6.5	4.3	2.2	23.1	17.2	66.7	7.5	27.4	8.1	8.6				

※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【全体・性別・年代別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

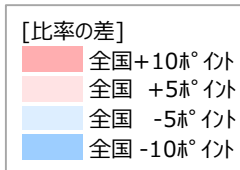
『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』に対する意見について、広島県_全体では「賛成計」が38%、「反対計」が63%と全国_全体と比べて「賛成計」がやや高く、「反対計」がやや低い。

性別や、年代別の18～50代も同様の傾向。60代では他の年代と比べて全国と広島県の差はほとんど見られない。

Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

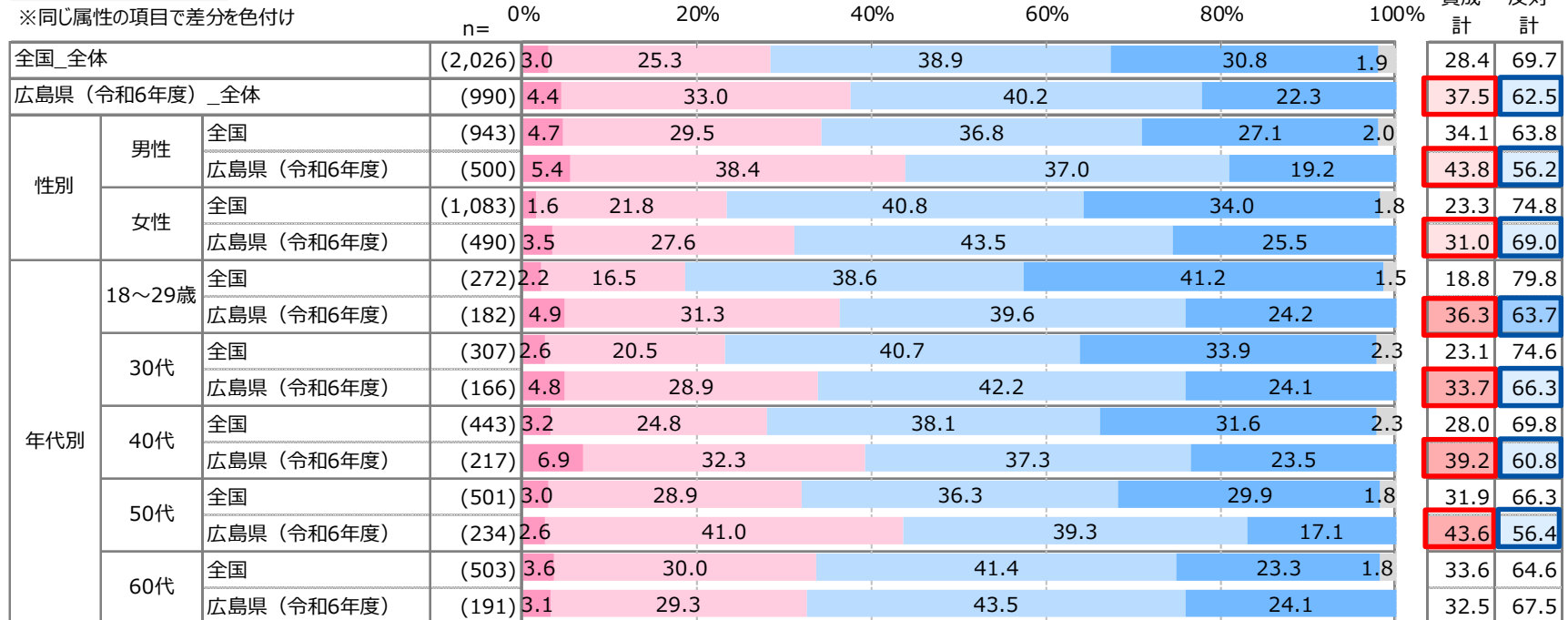
SA

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答

※同じ属性の項目で差分を色付け



※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

【性年代別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

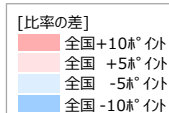
年代別×男性でみると、18～50代は全国と比べて「賛成計」が高く、「反対計」が低い。
 年代別×女性でみると、18～29歳と40代は全国と比べて「賛成計」が高く、「反対計」が低い。
 男女ともに、60代は他の年代と比べると、全国と広島県の差は小さい。

Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

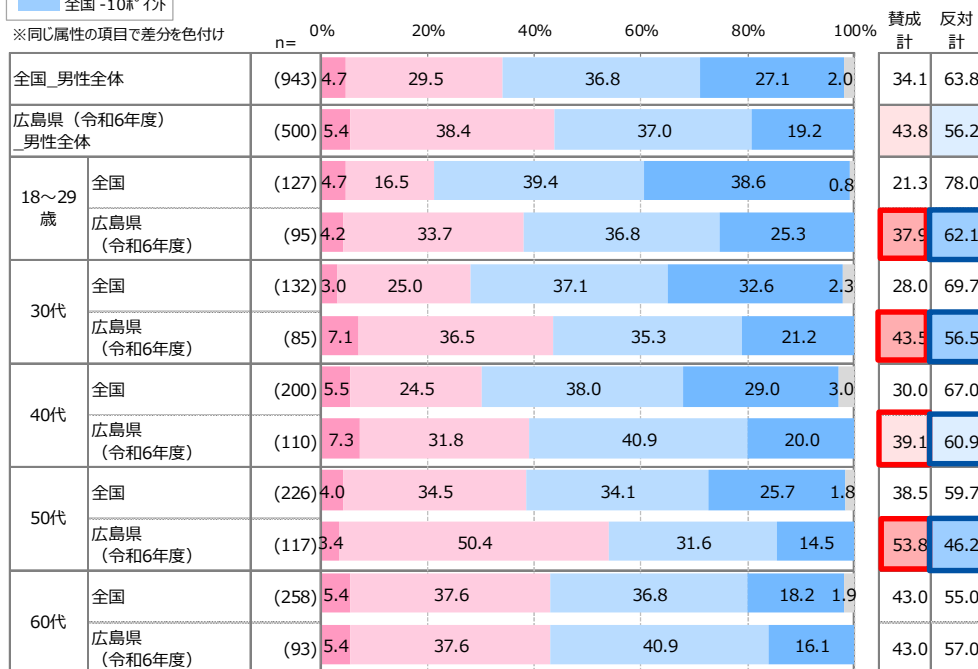
SA

男性

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答

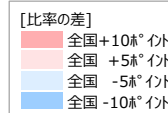


※全国_男性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

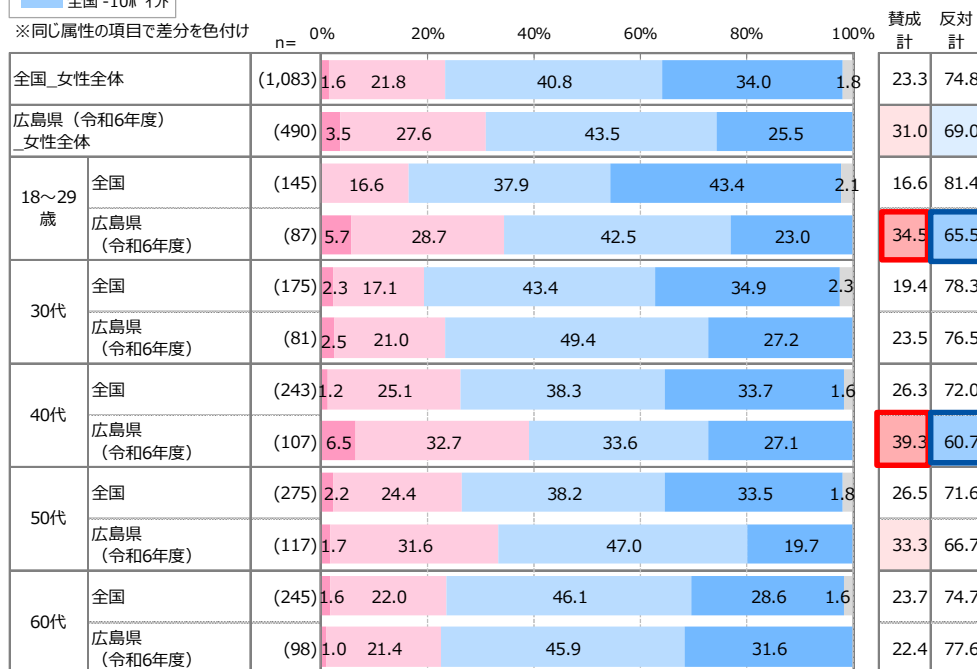
※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

女性

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答



※全国_女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

【エリア別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

広島県_全体は全国と比較して「賛成計」がやや高く、「反対計」がやや低い。
 エリア別でみると、広島県_全体は東北と北陸と比べて「賛成計」が高く、「反対計」が低い。

Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

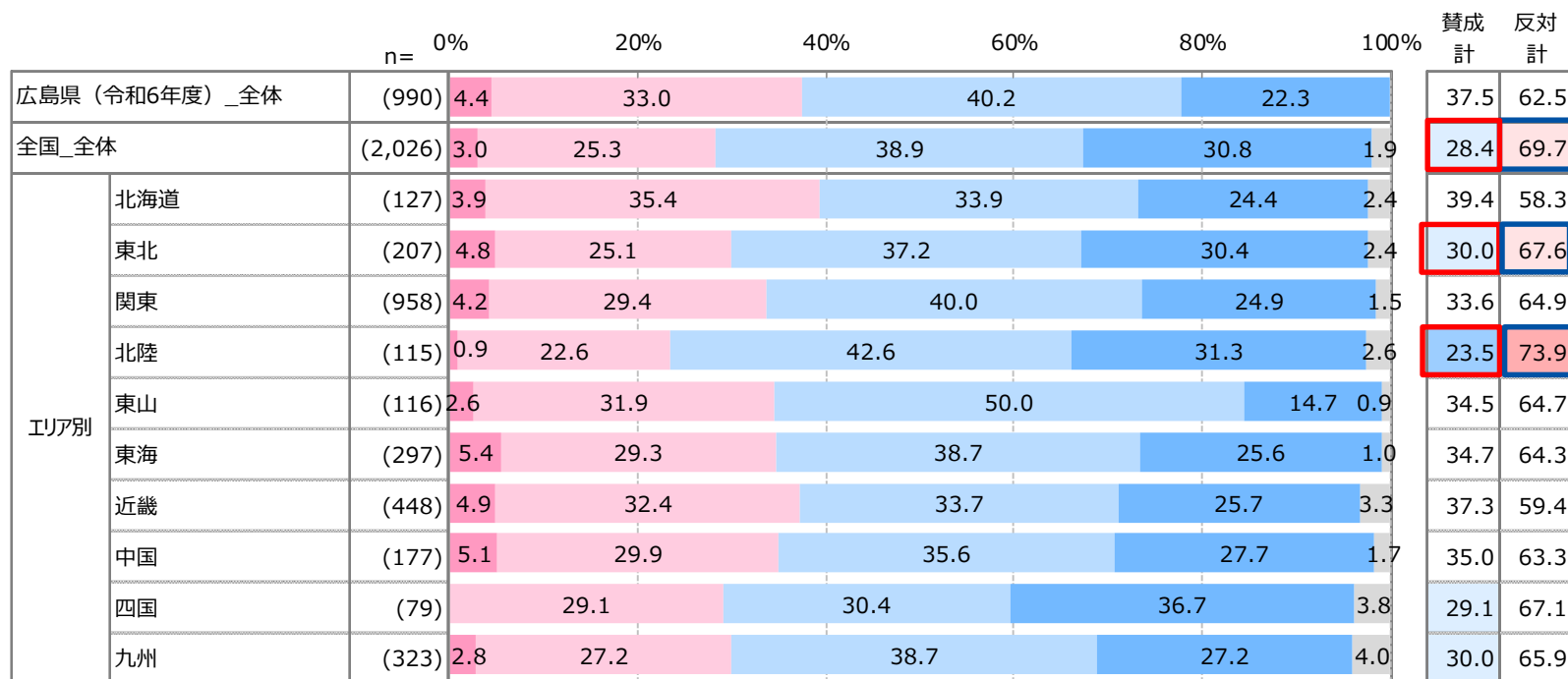
SA

n=30以上の場合

[比率の差]

- 広島県（令和6年度）_全体 +10% 以内
- 広島県（令和6年度）_全体 +5% 以内
- 広島県（令和6年度）_全体 -5% 以内
- 広島県（令和6年度）_全体 -10% 以内

■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答



※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_全体については、内閣府のデータを20～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

© Macromill, Inc.

※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」

※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

【エリア別×性別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

エリア別×男性でみると、広島県_男性全体は北陸・東海・中国と比べて「賛成計」が高く、「反対計」が低い。
 一方で、北海道と比べると「賛成計」が低く、「反対計」が高い。
 エリア別×女性でみると、広島県_女性全体は北海道・北陸と比べて「賛成計」が高く、「反対計」がやや低い。

Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

SA

男性

女性

n=30以上の場合

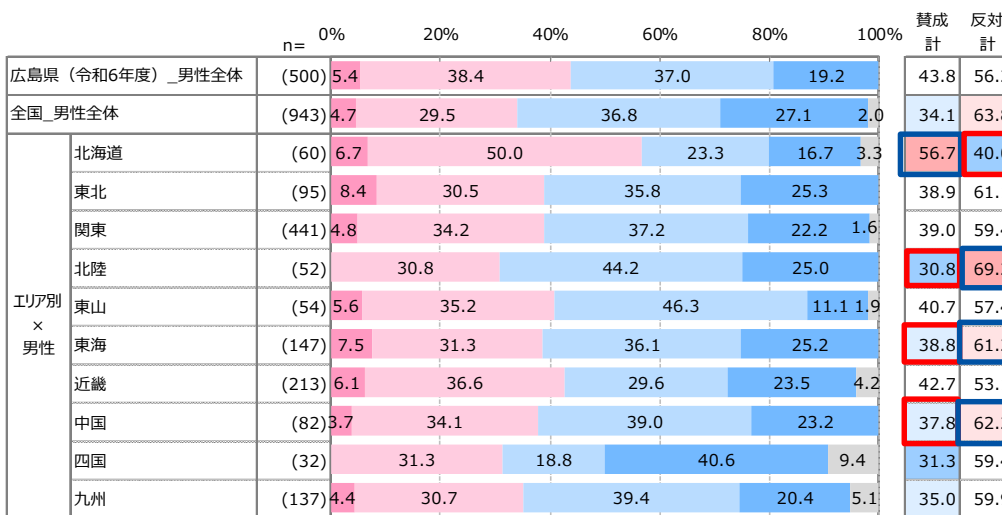
[比率の差]
 広島県(令和6年度)_男性全体 +10ポイント
 広島県(令和6年度)_男性全体 +5ポイント
 広島県(令和6年度)_男性全体 -5ポイント
 広島県(令和6年度)_男性全体 -10ポイント

■賛成 ■どちらかという賛成 ■どちらかという反対 ■反対 ■無回答

n=30以上の場合

[比率の差]
 広島県(令和6年度)_女性全体 +10ポイント
 広島県(令和6年度)_女性全体 +5ポイント
 広島県(令和6年度)_女性全体 -5ポイント
 広島県(令和6年度)_女性全体 -10ポイント

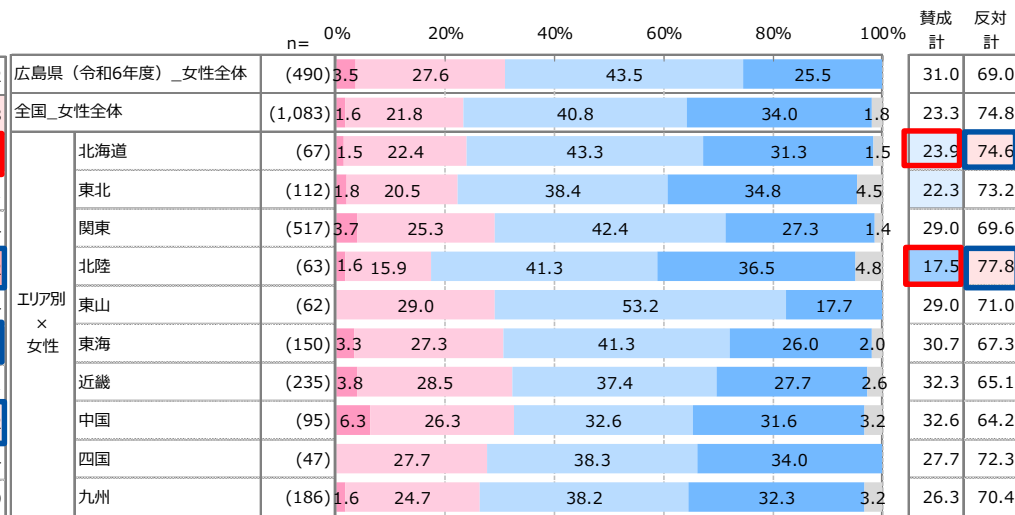
■賛成 ■どちらかという賛成 ■どちらかという反対 ■反対 ■無回答



※エリア別×男性については、18~70代以上を含めたデータ。

※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

※全国_男性全体については、内閣府のデータを20~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。



※エリア別×女性については、18~70代以上を含めたデータ。

※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

※全国_女性全体については、内閣府のデータを20~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【全体・性別・性年代別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

賛成理由について、広島県_全体は「妻が家庭を守った方が〜」「育児・介護・家事と両立〜」が全国と比べて低く、「日本の伝統的な〜」や「自分の両親も役割分担〜」が高い。性別や年代別の18〜50代も同様の傾向が見られる。女性は全国と比べて「夫が外で働いた方が〜」が高い。

反対理由について、広島県_全体は「固定的な夫と妻の役割分担〜」「夫も妻も働いた方が〜」「妻が働いて能力を發揮〜」が全国と比べて低い。性別や年代別も全体と同様の傾向が見られる。男性は「男女平等に反すると思うから」が全国より高い。

Q12 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。(いくつでも)

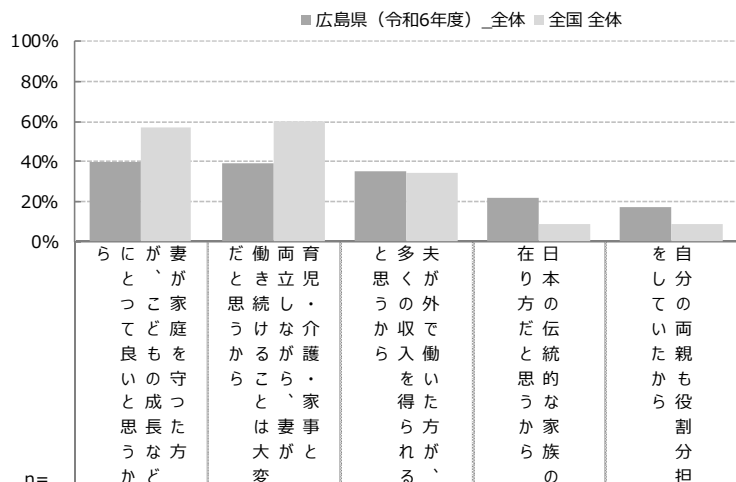
※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

Q13 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。(いくつでも)

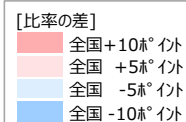
※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※賛成している人ベース



n=30以上の場合



※同じ属性の項目で差分を色付け

		n=	らにが妻	だ働両	と多夫	在日	を自
			らにが妻	だ働両	と多夫	在日	を自
			らにが妻	だ働両	と多夫	在日	を自
全国 全体		(575)	57.2	60.2	34.3	8.9	8.5
広島県 (令和6年度) 全体		(371)	39.9	39.1	35.0	22.1	17.5
性別	男性	全国 (322)	62.7	55.6	31.3	10.6	9.0
	広島県 (令和6年度) (219)	43.4	30.1	26.0	25.1	19.6	
女性	全国 (253)	50.2	66.0	38.0	6.7	7.9	
	広島県 (令和6年度) (152)	34.9	52.0	48.0	17.8	14.5	
年代	18~29歳	全国 (51)	39.2	64.7	35.3	7.8	17.6
		広島県 (令和6年度) (66)	27.3	48.5	39.4	25.8	25.8
	30代	全国 (71)	52.1	74.6	38.0	7.0	7.0
		広島県 (令和6年度) (56)	28.6	32.1	33.9	19.6	25.0
	40代	全国 (124)	62.1	58.9	32.3	4.8	11.3
		広島県 (令和6年度) (85)	36.5	44.7	32.9	18.8	16.5
50代	全国 (160)	63.1	55.0	33.1	11.3	5.0	
	広島県 (令和6年度) (102)	48.0	36.3	35.3	21.6	12.7	
60代	全国 (169)	55.6	58.6	34.9	10.7	7.7	
	広島県 (令和6年度) (62)	54.8	32.3	33.9	25.8	11.3	

※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※反対している人ベース



		n=	る分固	思男	と多夫	て自	らにし	だ働両
			る分固	思男	と多夫	て自	らにし	だ働両
			る分固	思男	と多夫	て自	らにし	だ働両
全国 全体		(1,412)	75.4	36.8	45.9	15.0	36.6	17.5
広島県 (令和6年度) 全体		(619)	58.3	43.0	32.5	21.0	16.0	15.0
性別	男性	(602)	67.4	33.2	45.3	14.5	39.5	18.1
	広島県 (令和6年度) (281)	52.3	47.0	34.2	21.0	22.4	14.2	
女性	全国 (810)	81.4	39.4	46.3	15.3	34.3	17.1	
	広島県 (令和6年度) (338)	63.3	39.6	31.1	21.0	10.7	15.7	
年代	18~29歳	全国 (217)	80.6	38.7	48.4	24.0	29.0	14.3
		広島県 (令和6年度) (116)	52.6	51.7	34.5	31.9	12.1	11.2
	30代	全国 (229)	83.0	35.4	50.2	19.7	29.7	14.0
		広島県 (令和6年度) (110)	54.5	39.1	40.0	20.0	12.7	12.7
	40代	全国 (309)	76.7	36.9	50.5	13.3	35.0	18.1
		広島県 (令和6年度) (132)	57.6	44.7	35.6	22.7	18.2	14.4
50代	全国 (332)	73.2	38.9	41.9	11.4	38.0	16.0	
	広島県 (令和6年度) (132)	62.9	37.1	26.5	17.4	16.7	17.4	
60代	全国 (325)	67.7	34.2	40.9	10.8	46.5	23.1	
	広島県 (令和6年度) (129)	62.8	42.6	27.1	14.0	19.4	18.6	

※「広島県 (令和6年度) 全体」のスコアを降順ソート

【性年代別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

賛成理由について男性×年代別で見ると、30～50代は「妻が家庭を守った方が～」 「育児・介護・家事と両立～」が全国と比べて低い。

男性において「妻が家庭を守った方が～」はトップ項目であることに変わりはないが、全国と比べるとかなり低い傾向が見られる。

女性×年代別で見ると、40代～50代は「妻が家庭を守った方が～」が全国と比べて低い。

反対理由について男性×年代別で見ると、いずれの年代でも「夫も妻も働いた方が～」 「妻が働いて能力を発揮～」 「固定的な夫と妻の役割分担～」は全国と比べて低く、

男性全体と同様の傾向が見られる。50代を除くいずれの年代でも「男女平等に反すると思うから」は全国と比べて高い。

女性×年代別では、全国より低い項目について男性と同様の傾向が見られる。

Q12 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。(いくつでも)

※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

Q13 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。(いくつでも)

※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※賛成している人ベース

(%)

		n=	在日 本 方 の 伝 統 的 な 家 族 の	を 自 分 の 両 親 も 役 割 分 担	と 多 夫 の 外 か 取 ら 入 働 を い 得 た 方 が 、	ら に が 妻 と こ 庭 を い の 守 つ う な 方 か	だ 働 き 続 け な が ら こ ら の 家 事 大 が と 変	育 児 ・ 介 護 の 支 援 が あ る こ と
n=30以上の場合								
[比率の差]								
全国+10%以内								
全国+5%以内								
全国-5%以内								
全国-10%以内								
※同じ属性の項目で差分を色付け								
全国 男性全体		(322)	10.6	9.0	31.3	62.7	55.6	
広島県 (令和6年度) 男性全体		(219)	25.1	19.6	26.0	43.4	30.1	
男性 × 年代別	18～29歳	全国	(27)	11.1	22.2	29.6	44.4	74.1
		広島県 (令和6年度)	(36)	19.4	27.8	25.0	33.3	58.3
	30代	全国	(37)	8.1	2.7	32.4	54.1	75.7
		広島県 (令和6年度)	(37)	24.3	27.0	24.3	35.1	24.3
	40代	全国	(60)	6.7	15.0	33.3	73.3	48.3
		広島県 (令和6年度)	(43)	25.6	16.3	25.6	39.5	30.2
	50代	全国	(87)	13.8	5.7	28.7	65.5	51.7
		広島県 (令和6年度)	(63)	25.4	17.5	25.4	49.2	17.5
	60代	全国	(111)	10.8	7.2	32.4	62.2	51.4
		広島県 (令和6年度)	(40)	30.0	12.5	30.0	55.0	30.0
	全国 女性全体		(253)	6.7	7.9	38.0	50.2	66.0
	広島県 (令和6年度) 女性全体		(152)	17.8	14.5	48.0	34.9	52.0
女性 × 年代別	18～29歳	全国	(24)	4.2	12.5	41.7	33.3	54.2
		広島県 (令和6年度)	(30)	33.3	23.3	56.7	20.0	36.7
	30代	全国	(34)	5.9	11.8	44.1	50.0	73.5
		広島県 (令和6年度)	(19)	10.5	21.1	52.6	15.8	47.4
	40代	全国	(64)	3.1	7.8	31.3	51.6	68.8
		広島県 (令和6年度)	(42)	11.9	16.7	40.5	33.3	59.5
	50代	全国	(73)	8.2	4.1	38.4	60.3	58.9
		広島県 (令和6年度)	(39)	15.4	5.1	51.3	46.2	66.7
	60代	全国	(58)	10.3	8.6	39.7	43.1	72.4
		広島県 (令和6年度)	(22)	18.2	9.1	40.9	54.5	36.4

※反対している人ベース

(%)

		n=	思 う 女 か 平 ら に 反 す る と	て 自 分 の 両 親 も 外 で 働 い	と 多 夫 の 妻 も 働 か い 得 た 方 が 、	ら に し 妻 と つ 方 働 き 良 い 個 人 社 会 の 能	だ 働 き 続 け な が ら こ ら の 家 事 大 が と 変	育 児 ・ 介 護 の 支 援 が あ る こ と	分 担 の 意 識 な い 夫 妻 の 役 割 分 割
n=									
(602)			33.2	14.5	45.3	39.5	18.1	67.4	
(281)			47.0	21.0	34.2	22.4	14.2	52.3	
男性 × 年代別	18～29歳	全国	(99)	30.3	19.2	46.5	31.3	12.1	74.7
		広島県 (令和6年度)	(59)	49.2	27.1	37.3	15.3	8.5	50.8
	30代	全国	(92)	30.4	15.2	50.0	30.4	17.4	73.9
		広島県 (令和6年度)	(48)	43.8	20.8	43.8	16.7	12.5	45.8
	40代	全国	(134)	35.1	14.2	53.7	41.0	22.4	63.4
		広島県 (令和6年度)	(67)	53.7	23.9	35.8	26.9	11.9	52.2
	50代	全国	(135)	34.8	10.4	41.5	41.5	13.3	65.2
		広島県 (令和6年度)	(54)	38.9	16.7	31.5	27.8	25.9	51.9
	60代	全国	(142)	33.8	14.8	37.3	47.9	23.2	64.1
		広島県 (令和6年度)	(53)	47.2	15.1	22.6	24.5	13.2	60.4
	全国 女性全体		(810)	39.4	15.3	46.3	34.3	17.1	81.4
	広島県 (令和6年度) 女性全体		(338)	39.6	21.0	31.1	10.7	15.7	63.3
女性 × 年代別	18～29歳	全国	(118)	45.8	28.0	50.0	27.1	16.1	85.6
		広島県 (令和6年度)	(57)	54.4	36.8	31.6	8.8	14.0	54.4
	30代	全国	(137)	38.7	22.6	50.4	29.2	11.7	89.1
		広島県 (令和6年度)	(62)	35.5	19.4	37.1	9.7	12.9	61.3
	40代	全国	(175)	38.3	12.6	48.0	30.3	14.9	86.9
		広島県 (令和6年度)	(65)	35.4	21.5	35.4	9.2	16.9	63.1
	50代	全国	(197)	41.6	12.2	42.1	35.5	17.8	78.7
		広島県 (令和6年度)	(78)	35.9	17.9	23.1	9.0	11.5	70.5
	60代	全国	(183)	34.4	7.7	43.7	45.4	23.0	70.5
		広島県 (令和6年度)	(76)	39.5	13.2	30.3	15.8	22.4	64.5

※全国_男性・女性全体については、内閣府のデータをもとに18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【エリア別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

賛成理由についてエリア別でみると、広島県_全体は全てのエリアと比べて「妻が家庭を守った方が～」と「育児・介護・家事と両立～」が低い。
 反対理由についてエリア別でみると、広島県_全体は全てのエリアと比べて「夫も妻も働いた方が、多くの収入～」と「妻が働いて能力を発揮～」が低い。
 関東、東山～中国と比べて「男女平等に反すると思うから」は高い。

- Q12 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。(いくつでも)
 ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。
- Q13 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。(いくつでも)
 ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※賛成している人ベース

※反対している人ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
 広島県(令和6年度)_全体+10ポイント
 広島県(令和6年度)_全体+5ポイント
 広島県(令和6年度)_全体-5ポイント
 広島県(令和6年度)_全体-10ポイント

		n=	らにが妻 と、が つこ家 てど庭 良もを いの守 と成つ うな方 かど	だ働両育 とき立児 思続し・ うけな介 かるが護 らこら・家 は妻事 大がと 変	と多夫 思くが うの外 か収で ら入働 をいた 得た方 れが る、	在日 り本 方の だ伝 と統 思的 うな か家 ら族 の	を自 し分 ての い両 た親 かも ら役 割 分 担
広島県(令和6年度)_全体	(371)	39.9	39.1	35.0	22.1	17.5	
全国_全体	(575)	57.2	60.2	34.3	8.9	8.5	
エリア別							
北海道	(50)	68.0	52.0	48.0	2.0	10.0	
東北	(62)	67.7	51.6	22.6	17.7	6.5	
関東	(322)	59.9	55.9	32.3	11.8	8.4	
北陸	(27)	51.9	59.3	33.3	18.5	11.1	
東山	(40)	50.0	65.0	27.5	7.5	2.5	
東海	(103)	52.4	56.3	38.8	11.7	7.8	
近畿	(167)	61.1	58.7	25.7	10.2	9.6	
中国	(62)	61.3	59.7	38.7	11.3	9.7	
四国	(23)	56.5	43.5	26.1	13.0	-	
九州	(97)	53.6	52.6	32.0	9.3	9.3	

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

		n=	る分固 べ担定 きの的 で意な は識夫 なをと い押妻 かしの らつ役 け割	思男 う女 か平 ら等 に 反 す る と	と多夫 思くも うの妻 か収も ら入働 が 得た ら方 れが る、	て自 い分 たの か両 ら親 も 外 で 働 い	らにし妻 とたが つ方働 てが 良、 い個能 と人力 思やを う社発 か会揮	だ働両育 とき立児 思続し・ うけな介 かるが護 らこら・家 と、家 は妻事 可がと 能
広島県(令和6年度)_全体	(619)	58.3	43.0	32.5	21.0	16.0	15.0	
全国_全体	(1,412)	75.4	36.8	45.9	15.0	36.6	17.5	
エリア別								
北海道	(74)	67.6	48.6	37.8	12.2	32.4	18.9	
東北	(140)	63.6	40.0	50.0	13.6	37.1	18.6	
関東	(622)	73.5	32.3	45.3	11.4	42.6	19.0	
北陸	(85)	62.4	40.0	48.2	22.4	43.5	16.5	
東山	(75)	56.0	37.3	44.0	12.0	36.0	21.3	
東海	(191)	70.2	35.1	40.8	11.0	41.9	17.3	
近畿	(266)	75.9	30.8	45.1	14.3	38.3	14.7	
中国	(112)	73.2	36.6	45.5	15.2	45.5	13.4	
四国	(53)	64.2	43.4	58.5	18.9	41.5	22.6	
九州	(213)	71.8	39.9	40.4	14.6	33.8	23.5	

※「広島県(令和6年度)_全体」のスコアを降順ソート

【エリア別×性別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

賛成理由についてエリア別×男性でみると、広島県_全体は全てのエリアと比べて「妻が家庭を守った方が～」と「育児・介護・家事と両立～」が低い。
 エリア別×女性でみると、広島県_全体は東海・近畿・中国・九州と比べて「妻が家庭を守った方が～」と「育児・介護・家事と両立～」が低い。
 反対理由についてエリア別×男性でみると、全てのエリアと比べて「妻が働いて能力を発揮～」が低い一方で、「男女平等に反すると思うから」は高い。
 エリア別×女性でみると、全てのエリアと比べて「夫も妻も働いた方が、多くの収入～」と「妻が働いて能力を発揮～」が低い。

Q12 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。(いくつでも)

※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

Q13 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。(いくつでも)

※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※賛成している人ベース

※反対している人ベース

n=30以上の場合

[比率の差]

- 広島県(令和6年度)_全体(各性別) +10ポイント
- 広島県(令和6年度)_全体(各性別) +5ポイント
- 広島県(令和6年度)_全体(各性別) -5ポイント
- 広島県(令和6年度)_全体(各性別) -10ポイント

	n=	在日 日本の 方だ だ伝 統的 な家 族の	自分 の両 親も 役割 分担	多 く の 外 か 収 入 を 得 ら れ る	夫 が 外 で 働 い て ら る か ど	ら に が 妻 と つ と ど 庭 を 守 ら な か ど	妻 が 家 庭 を 守 ら な か ど	思 続 立 育 う け し な ら が 介 護 は 大 妻 変 だ 働 と き 両
広島県(令和6年度)_男性全体	(219)	25.1	19.6	26.0	43.4	30.1		
全国_男性全体	(322)	10.6	9.0	31.3	62.7	55.6		
エリア別×男性								
北海道	(34)	2.9	14.7	50.0	76.5	38.2		
東北	(37)	13.5	10.8	18.9	59.5	56.8		
関東	(172)	14.0	6.4	33.1	62.8	55.8		
北陸	(16)	25.0	12.5	25.0	56.3	50.0		
東山	(22)	9.1	4.5	13.6	50.0	54.5		
東海	(57)	14.0	8.8	38.6	57.9	49.1		
近畿	(91)	11.0	9.9	20.9	67.0	54.9		
中国	(31)	12.9	12.9	35.5	74.2	51.6		
四国	(10)	-	-	20.0	60.0	30.0		
九州	(48)	8.3	14.6	27.1	60.4	47.9		
広島県(令和6年度)_女性全体	(152)	17.8	14.5	48.0	34.9	52.0		
全国_女性全体	(253)	6.7	7.9	38.0	50.2	66.0		
エリア別×女性								
北海道	(16)	-	-	43.8	50.0	81.3		
東北	(25)	24.0	-	28.0	80.0	44.0		
関東	(150)	9.3	10.7	31.3	56.7	56.0		
北陸	(11)	9.1	9.1	45.5	45.5	72.7		
東山	(18)	5.6	-	44.4	50.0	77.8		
東海	(46)	8.7	6.5	39.1	45.7	65.2		
近畿	(76)	9.2	9.2	31.6	53.9	63.2		
中国	(31)	9.7	6.5	41.9	48.4	67.7		
四国	(13)	23.1	-	30.8	53.8	53.8		
九州	(49)	10.2	4.1	36.7	46.9	57.1		

※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

	n=	男 女 平 等 に 反 す る と 思	自 分 の 両 親 も 外 で 働 い	多 く の 妻 も 働 い て ら る か ど	ら に し 妻 が 働 い て 良 い と 思 う か	思 続 立 育 う け し な ら が 介 護 は 大 妻 変 だ 働 と き 両	立 育 児 介 護 は 大 妻 変 だ 働 と き 両	分 担 の 意 識 を 押 さ な か ど	固 定 的 な 夫 と 妻 の 役 割
広島県(令和6年度)_男性全体	(281)	47.0	21.0	34.2	22.4	14.2	52.3		
全国_男性全体	(602)	33.2	14.5	45.3	39.5	18.1	67.4		
エリア別×男性									
北海道	(24)	33.3	-	41.7	41.7	33.3	54.2		
東北	(58)	34.5	12.1	50.0	41.4	19.0	58.6		
関東	(262)	33.2	10.3	46.6	46.9	19.5	66.8		
北陸	(36)	41.7	11.1	50.0	47.2	19.4	55.6		
東山	(31)	41.9	19.4	38.7	32.3	25.8	58.1		
東海	(90)	32.2	10.0	43.3	37.8	16.7	66.7		
近畿	(113)	25.7	16.8	44.2	46.9	18.6	71.7		
中国	(51)	33.3	15.7	33.3	47.1	5.9	60.8		
四国	(19)	57.9	21.1	78.9	42.1	15.8	52.6		
九州	(82)	37.8	15.9	35.4	35.4	18.3	68.3		
広島県(令和6年度)_女性全体	(338)	39.6	21.0	31.1	10.7	15.7	63.3		
全国_女性全体	(810)	39.4	15.3	46.3	34.3	17.1	81.4		
エリア別×女性									
北海道	(50)	56.0	18.0	36.0	28.0	12.0	74.0		
東北	(82)	43.9	14.6	50.0	34.1	18.3	67.1		
関東	(360)	31.7	12.2	44.4	39.4	18.6	78.3		
北陸	(49)	38.8	30.6	46.9	40.8	14.3	67.3		
東山	(44)	34.1	6.8	47.7	38.6	18.2	54.5		
東海	(101)	37.6	11.9	38.6	45.5	17.8	73.3		
近畿	(153)	34.6	12.4	45.8	32.0	11.8	79.1		
中国	(61)	39.3	14.8	55.7	44.3	19.7	83.6		
四国	(34)	35.3	17.6	47.1	41.2	26.5	70.6		
九州	(131)	41.2	13.7	43.5	32.8	26.7	74.0		

【全体・性別・年代別】女性が職業を持つことに対する意見

広島県_全体では、女性が職業を持つことに対する意見として「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が58%でトップ。

「子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」が24%と続く。

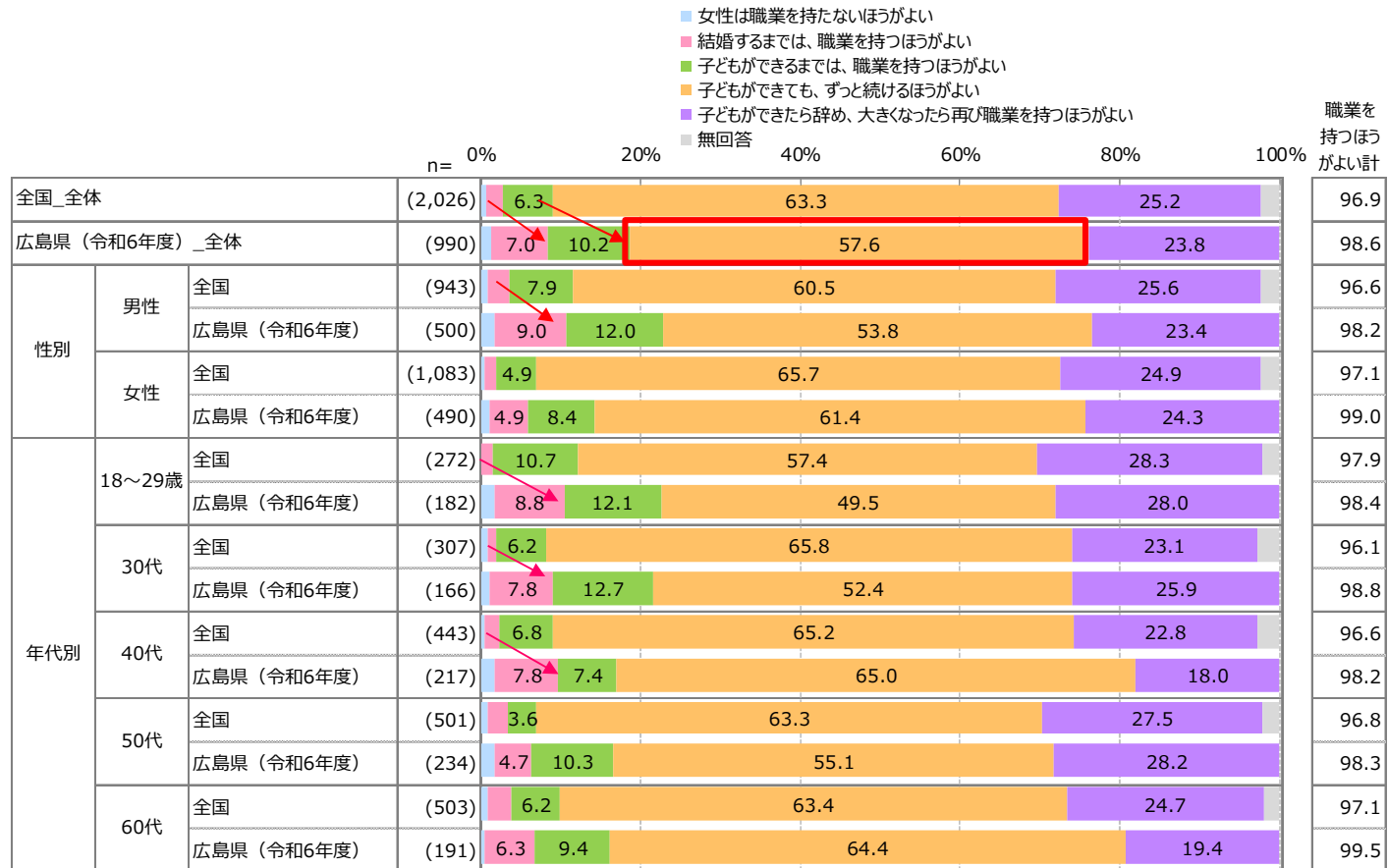
全国_全体と比べて、「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」と「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」が高い。

性別でみると、男性は同様の傾向が見られる。年代別でみると、18～40代では「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」が全国と比べて高い。

Q14 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

SA



※職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」

※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

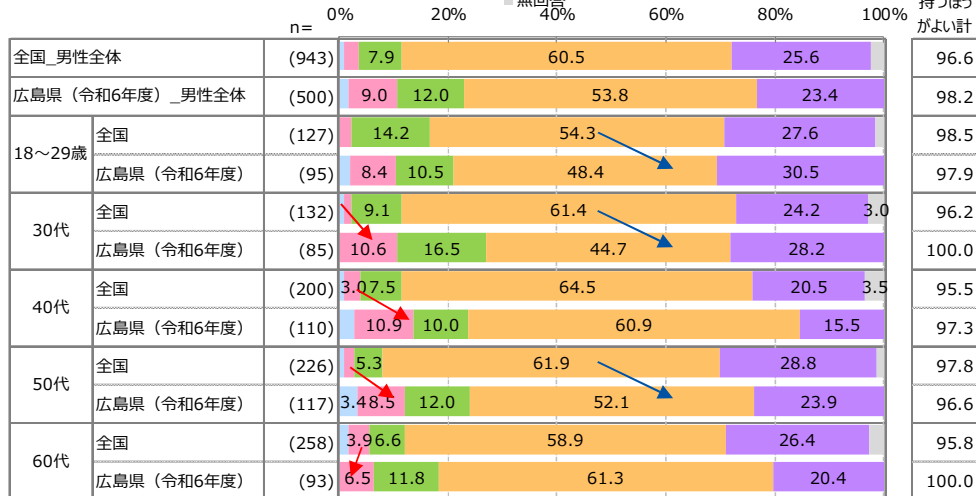
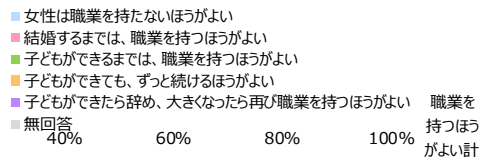
【性年代別】女性が職業を持つことに対する意見

年代別×男性でみると、18～29歳と30代、50代では全国と比べて「子供ができてずっと続けるほうがよい」が低い。
 30～60代では、「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」と「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」が全国と比べて高い。
 年代別×女性でみると、18～29歳と30代、50代では男性と同様の傾向が見られる。
 18～30代では、「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」と「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」が全国と比べて高い。

Q14 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。当てはまるものを1つだけ選んでください。
 ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

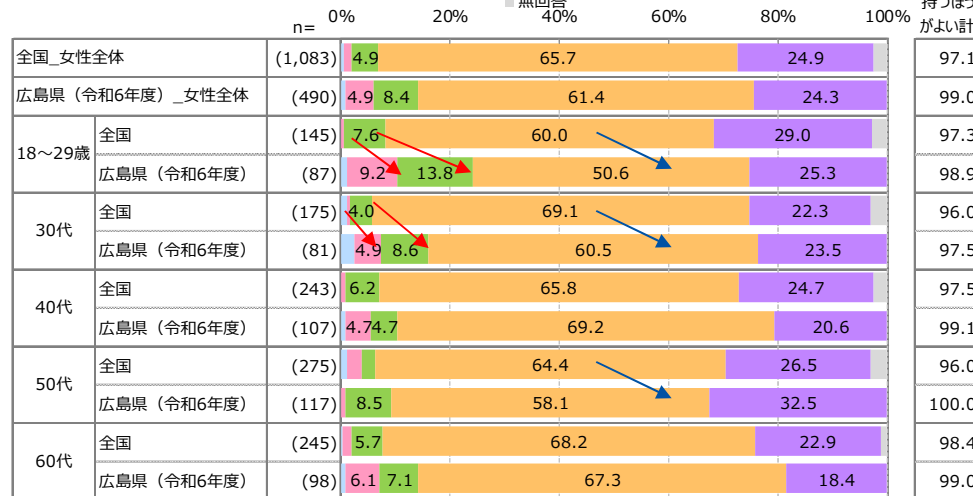
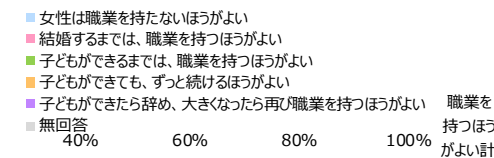
SA

男性



※職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができたら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」
 ※全国_男性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

女性



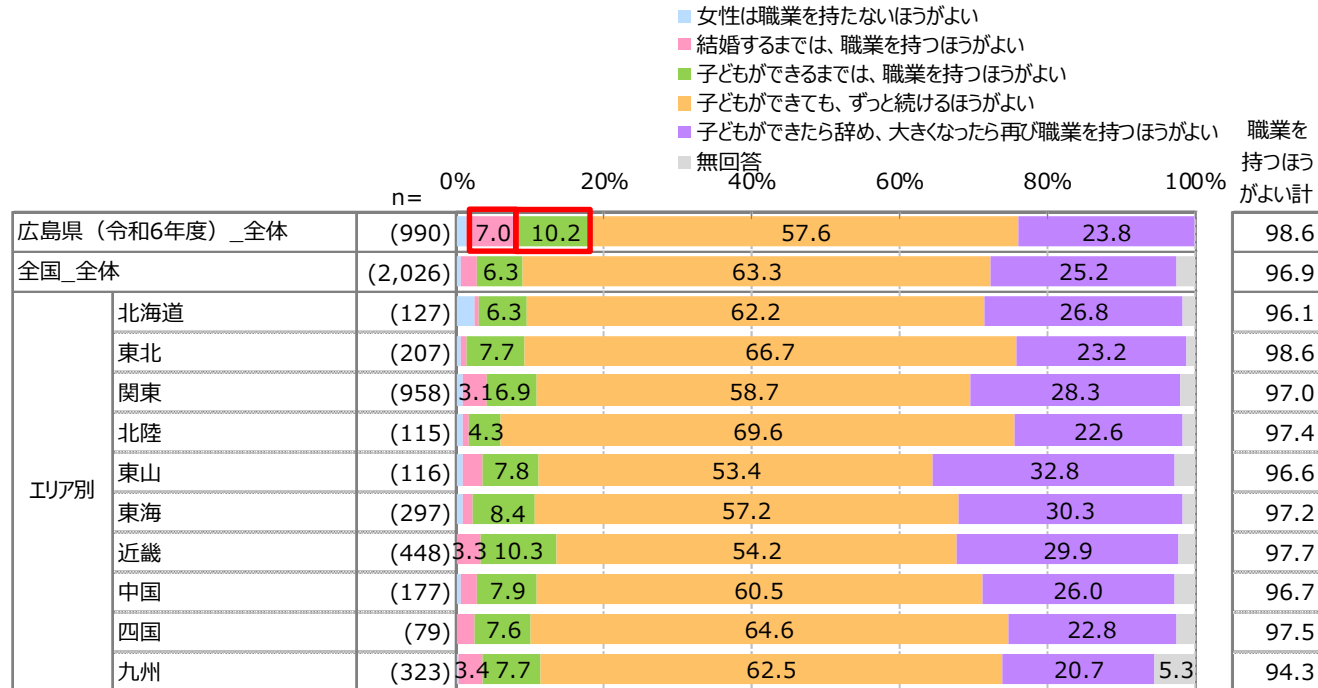
※職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができたら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」
 ※全国_女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【エリア別】女性が職業を持つことに対する意見

広島県_全体は全国_全体と比べて「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」と「子供ができるまでは、職業を持つほうがよい」が高い。
 エリア別でみると、広島県_全体は北海道、東北、北陸や東海と比べて「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」が高い。

Q14 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。当てはまるものを1つだけ選んでください。
 ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

SA



※職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができれば辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【エリア別×性別】女性が職業を持つことに対する意見

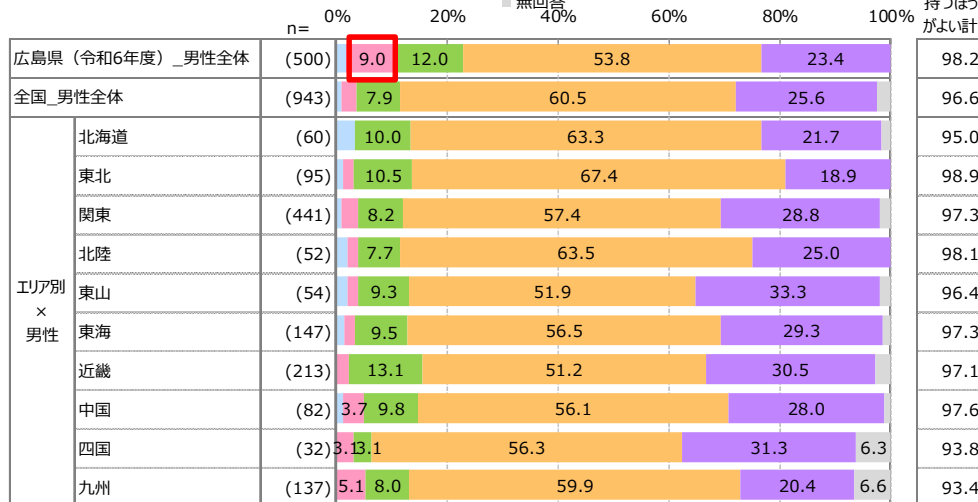
エリア別×男性でみると、広島県_男性全体は全てのエリアと比べて「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」が高い。
 エリア別×女性でみると、広島県_女性全体は北陸と比べて「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が低い。

Q14 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。当てはまるものを1つだけ選んでください。
 ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

SA

男性

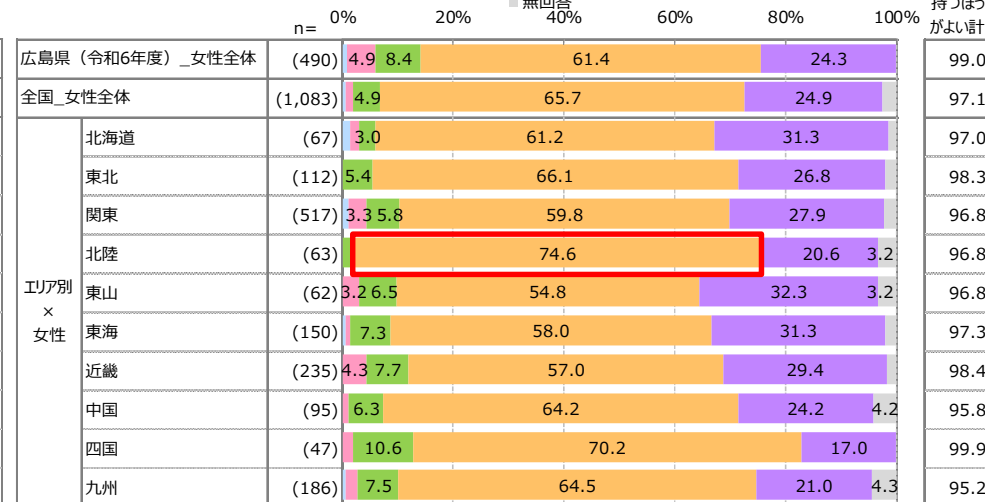
- 女性は職業を持たないほうがよい
- 結婚するまでは、職業を持つほうがよい
- 子どもができるまでは、職業を持つほうがよい
- 子どもができて、ずっと続けるほうがよい
- 子どもができたらず辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- 無回答



※職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができたらず辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」
 ※エリア別×男性については、18～70代以上を含めたデータ。
 ※全国_男性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

女性

- 女性は職業を持たないほうがよい
- 結婚するまでは、職業を持つほうがよい
- 子どもができるまでは、職業を持つほうがよい
- 子どもができて、ずっと続けるほうがよい
- 子どもができたらず辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- 無回答



※職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい」～「子どもができたらず辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」
 ※エリア別×女性については、18～70代以上を含めたデータ。
 ※全国_女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

男女の役割に対する意見/そう思う・計【性別・性年代別】

広島県_男性全体・女性全体ともに、男女の役割に対する意見についてそう思う・計の中でトップなのが、『男性は仕事をして家計を支えるべきだ』。
 広島県_男性全体は全国と比べて全ての項目で高い。特に、『男性は仕事をして家計を支えるべきだ』は全国と比べて28pt高い。
 男性×年代別でみると、いずれの年代でも『男性は仕事をして家計を支えるべきだ』は全国より20-30pt高い。30代は『組織のリーダーは男性の方が向いている』、50代は『家事・育児は女性がするべきだ』が全国と比べて20pt以上高い。
 広島県_女性全体も男性全体と同様の傾向。女性×年代別でみると、いずれの年代でも『男性は仕事をして家計を支えるべきだ』は全国より25-40pt以上高く、男性より差が見られる。

Q15 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどう思いますか。あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

項目名	データ	男性					女性						
		計	年代					計	年代				
			20代	30代	40代	50代	60代		20代	30代	40代	50代	60代
n数	広島県（令和6年度）	(484)	(79)	(85)	(110)	(117)	(93)	(476)	(73)	(81)	(107)	(117)	(98)
	全国	(5452)	(977)	(1230)	(1065)	(1083)	(1097)	(5384)	(1061)	(1094)	(1070)	(1075)	(1084)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	広島県（令和6年度）	76.2	72.2	72.9	70.9	82.1	81.7	77.1	75.3	80.2	72.9	78.6	78.6
	全国	48.7	43.9	43.0	44.2	51.9	60.7	44.9	36.0	39.9	45.6	50.0	52.7
	差分	27.5	28.3	29.9	26.7	30.2	21.0	32.2	39.3	40.3	27.3	28.6	25.9
家事・育児は女性がするべきだ	広島県（令和6年度）	39.0	29.1	40.0	30.0	52.1	40.9	30.9	31.5	28.4	29.0	32.5	32.7
	全国	27.3	22.6	23.4	28.2	31.1	31.2	20.7	15.5	17.4	23.0	23.4	24.4
	差分	11.7	6.5	16.6	1.8	21.0	9.7	10.2	16.0	11.0	6.0	9.1	8.3
男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	広島県（令和6年度）	22.7	12.7	29.4	24.5	23.9	21.5	18.5	11.0	18.5	24.3	22.2	13.3
	全国	15.6	18.2	16.3	16.3	15.6	11.6	9.4	9.7	10.2	10.8	9.1	7.1
	差分	7.1	-5.5	13.1	8.2	8.3	9.9	9.1	1.3	8.3	13.5	13.1	6.2
共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	広島県（令和6年度）	36.6	27.8	40.0	36.4	40.2	36.6	24.8	23.3	16.0	28.0	26.5	27.6
	全国	24.9	24.2	22.4	24.6	27.1	26.6	20.3	16.8	17.6	21.7	21.5	24.0
	差分	11.7	3.6	17.6	11.8	13.1	10.0	4.5	6.5	-1.6	6.3	5.0	3.6
組織のリーダーは男性の方が向いている	広島県（令和6年度）	39.0	35.4	51.8	35.5	41.9	31.2	29.4	30.1	30.9	27.1	34.2	24.5
	全国	26.1	25.5	27.2	26.2	26.0	25.6	20.9	18.8	20.1	22.0	21.8	21.7
	差分	12.9	9.9	24.6	9.3	15.9	5.6	8.5	11.3	10.8	5.1	12.4	2.8

※10pt以上スコアに差分がある場合、赤字で色付け
 ※広島県（令和6年度）が全国を下回る場合、青字で色付け

男女の役割に対する意見/そう思う・計【性別・性年代別】

広島県_男性全体・女性全体ともに、いずれの項目でも全国より高い傾向がみられる。特に、『男性は気を遣う作業やきめ細かな作業は向いていない』と『女性がか弱い存在なので、守らなければならない』は男女ともに全国より10-15pt以上高く、差が見られる。年代別でも、男女ともに同様の傾向が見られる。

Q15 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどう思いますか。あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

項目名	データ	男性						女性					
		計	年代					計	年代				
			20代	30代	40代	50代	60代		20代	30代	40代	50代	60代
n数	広島県（令和6年度）	(484)	(79)	(85)	(110)	(117)	(93)	(476)	(73)	(81)	(107)	(117)	(98)
	全国	(5452)	(977)	(1230)	(1065)	(1083)	(1097)	(5384)	(1061)	(1094)	(1070)	(1075)	(1084)
職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ	広島県（令和6年度）	20.5	22.8	24.7	17.3	21.4	17.2	13.0	15.1	12.3	13.1	16.2	8.2
	全国	16.1	20.5	17.4	16.2	14.7	12.1	11.0	13.4	11.9	11.5	8.7	9.6
	差分	4.4	2.3	7.3	1.1	6.7	5.1	2.0	1.7	0.4	1.6	7.5	-1.4
女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない	広島県（令和6年度）	21.3	22.8	35.3	17.3	21.4	11.8	13.2	21.9	13.6	13.1	9.4	11.2
	全国	13.3	17.2	15.4	14.9	10.8	8.5	9.0	10.0	9.3	10.1	7.9	7.7
	差分	8.0	5.6	19.9	2.4	10.6	3.3	4.2	11.9	4.3	3.0	1.5	3.5
男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない	広島県（令和6年度）	32.9	30.4	36.5	38.2	32.5	25.8	31.3	28.8	30.9	33.6	28.2	34.7
	全国	19.1	21.7	20.1	20.4	18.1	15.6	19.0	17.0	19.4	19.6	19.3	19.7
	差分	13.8	8.7	16.4	17.8	14.4	10.2	12.3	11.8	11.5	14.0	8.9	15.0
女性がか弱い存在なので、守らなければならない	広島県（令和6年度）	48.1	46.8	41.2	46.4	52.1	52.7	37.0	42.5	37.0	31.8	41.0	33.7
	全国	33.1	28.8	30.0	32.4	35.9	38.4	23.4	23.3	22.4	23.0	24.6	23.9
	差分	15.0	18.0	11.2	14.0	16.2	14.3	13.6	19.2	14.6	8.8	16.4	9.8

※10pt以上スコアに差分がある場合、赤字で色付け

※広島県（令和6年度）が全国を下回る場合、青字で色付け



Build your Data Culture